参考資料1

市民から寄せられた意見（意見交換会ご質問・ご意見メモ）

意見交換会会場	意見番号	意見等数	ご意見の主要な内容 （〇は判別不能文字又は特定個人名・特定企業名のため伏せたもの）	1．整備基本計画について											2．建設候補地について							3．委員会や意見交換会の進め方について	4．広報や住民との合意形成について	5．その他・町田市の施策について				意見以外の項目
				（1）現有施設	（2）施設計画	（3）熱回収施設	（4）バイオガス化施設	（5）資源ごみ処理施設	（6）エネルギーの利用	（7）施設の副次的機能	（8）自主規制値・運転管理目標値	（9）建設コスト・維持管理コスト	（10）周辺への影響・安全管理	（11）その他	（1）自然環境の保全	（2）市境からの距離、近隣市との関係	（3）分散化	（4）周辺地域への配慮・メリット	（5）交通状況について	（6）評価方法・項目・配点について	（7）その他			（1）生ごみの分別・堆肥化	（2）ごみ減量化	（3）基本計画の理念について	（4）その他	
7／26 町田市役所本庁舎	1	1	◎施設に関して。 「熱回収＋生ごみバイオガス化」の建設費（約158億）、維持管理費（約4.6億）の試算が有りますが「施設の運営方式についての検討」が未完の状態にての算出根拠は？									●																
	2	2	①（バイオの）同規模同程度の類似施設は日本のどこですか？				●																					
			②近隣住民への影響は全くなく安全だと、だれが保障し、最終的に責任を負い、そのことをどのように文章、文書として残すのか？										●										●					
	3	1	色々.問題点は山積している事と存じますが総花的になると、ピンボケー？になる恐れあり. 熱回収　施設　より　資源ごみ処理施設に重点を置くー？ バイオガス　〃																								●	
	4	2	1）バイオガス化することに決まった経緯を聞かせて下さい。 （2020年稼動時に最良なのでしょうか？）				●																			●		
			2）ごみを出さない事への取組みが弱いのではないでしょうか？																						●			
	5	2	生ごみ3千tの処理（堆肥化）の具体的な方法についてお聞きしたいと思います。 大型電動生ごみ処機のメーカーが今後継続して作り続けられるのか。10年後も現状が維持出来るのか。 市の負担も含めておたずね致します。																					●				
	6	2	・バイオガス化の件 ①臭いが発生するのではと思いますが、外に臭いを出さない設備は充分なのでしょうか？				●						●															
			②「燃やさない」ことを優先と言っていますが45tの生ゴミを入れたら50tぐらいの生ゴミが出て来てしまうと考えられます。これらのゴミは焼却しかないと思われます。従ってバイオガスなど取る設備を作るよりゴミを焼却して発電した方が特策と思います。		●																					●		
	7	1	電気エネルギに使用できるようしてもらいたい						●																			
	8	2	聞き洩らしたのかも知れませんが バイオガス施設の「北部丘陵整備事業用地（A）」はどういった場所にありますか（町名、街道名など） 「リサイクル文化センター」も候補地のように見えますが、よろしいですか。																	●								
			意見としては、いろいろな条件を満たしてこの2か所が挙げられていると思いますが.「町田リサイクル文化センター」がわかりやすいです。 ここにしたらどうでしょう。																	●								
	9	2	・施設の機能について.防災拠点として整備する場合.万一大地震等で熱回収施設が被災した場合の衛生面への配慮を忘れないでほしい。 むしろ.災害発生時に市内で一時的にがれきやゴミを集積しておく（衛生的に）場所というか、用地を確保するのを利用してはどうか？							●			●															
			・用地選定の評価では、交通面への影響にもう少し配慮を。																●	●								
	10	4	◎どこに建てる？ ①評価項目の配点にバラツキがある。→評価点が同点の場合、どの項目の評価を優先するのか不明である。																	●								
			②評価点（配点）の付け方は、0か記入された点なのか、中間点はあるのか 例、敷地の形状9or0なのか																	●								
			③評価をするのは委員会であって.この評価点をもって.市に答申するのですか。																	●		●						
			◎どんな施設 ①ガスホルダーの内膜の破損しないとの安全性（耐久性）の確認データはあるのか:				●						●															
	11	2	配点表は誰がどう配点するのか？																	●								
			地域住民の範囲はどの位の距離で考えたらいいのか？															●										
	12	2	候補地について 1.緑豊かな町田の貴重な自然に配慮して候補地を選定して下さい													●												
			2.選定には諸条件が有るので難かしい問題と思われる。市の外れであっても良いのでは。又将来的には他市との共有共同利用もが可能な様に規模に余裕を持って健設願い度い.		●												●											
	13	2	自治会の役員になり始めて参加しました。 ゴミの施設が出来る予定を知りました。市民の為になるみんなが納得のいく工場の完成を希みます																				●					
			新しいアイデアを入れたりして全国のモデルになれば良いと思います.あくまでも市民の側から見た建設をよろしくお願い致します																				●					

意見交換会会場	意見番号	意見等数	ご意見の主要な内容 （〇は判別不能文字又は特定個人名・特定企業名のため伏せたもの）	1．整備基本計画について											2．建設候補地について							3．委員会や意見交換会の進め方について	4．広報や住民との合意形成について	5．その他・町田市の施策について				意見以外の項目
				（1）現有施設	（2）施設計画	（3）熱回収施設	（4）バイオガス化施設	（5）資源ごみ処理施設	（6）エネルギーの利用	（7）施設の副次的機能	（8）自主規制値・運転管理目標値	（9）建設コスト・維持管理コスト	（10）周辺への影響・安全管理	（11）その他	（1）自然環境の保全	（2）市境からの距離、近隣市との関係	（3）分散化	（4）周辺地域への配慮・メリット	（5）交通状況について	（6）評価方法・項目・配点について	（7）その他			（1）生ごみの分別・堆肥化	（2）ごみ減量化	（3）基本計画の理念について	（4）その他	
7／26 町田市役所本庁舎	14	16	質疑の前にかきました→① ☆今日頂いた「建設候補地選定の流れ」というプリントは全市民に（広報以外に独立して）配布されてしかるべきだと思いました。市民が要求せずとも全戸配布。そういった設備を避けて住宅を講入した世帯が気の毒すぎますので。（この型式の”意見交かん”に少し異和感を感じます。意見出しづらい）															●				●	●						
			☆焼却灰のエコセメント化についての見直しはあるのか？ 　原発事故以降、ゴミや焼却灰の放射能の数値がケタ違いに上がるという点を懸念しております。八王子の測定室でみかけた町田市小山（だったと思う）の「小なら」のせんてい物を「チップ状」と.「木ばい」にしたもので2ケタ程違う値がでたと思うが、市として今後.ゴミ焼却については、どの様にお考えでしょうか。			●																					●	
			※誰もが嫌がるであろう建設についての担当、検討して下さり皆様大変かと思います。ありがとうございます。																								●
			質疑中～あとにかきました→② ★これは今回の設置場所、ではなく”ゴミについての町田市の姿勢について”伺いたい…今後の検討に反映していただけることを願いつつ書いています。																							●	
			◎ほぼ生まれ育った私の家族は町田が、かつて「福祉の町」とよばれ、全国にさきかけて「ゴミの分別」を始めたことを見てきました。 　小2の頃このアピールがあった様に記憶しています。なぜなら、ゴミを分けましょう、というカンバンでクラスの友人と「道にあるゴミを集めて分別」して遊んでいた所、担当が「クラスで実行しよう」と、クラスの取りくみにしてくれた事が子ども心にとても残っております。又、大人になってから「ワケ丸」など工夫したとりくみも。																									●
			◎数年前に全国で始まった「分別」の時には、町田市民であることを誇りに思いました。 　…という事をうけて、裏面へ疑問お願いを書きます。																								●
			③ 今日、この会に参加したのは実は「転出届」の手続きに市役所に来たところ広報が目に止まり、急に参加しました。その為、示すことのできる資料を提出できず大変残念ですが、40年育んで頂いた大好きな町田を去るにあたり、今後この町を少しでも守って頂けるよう、参加してみようと思いました。 今回は「バイオガス」施設についての話し合い…そして「第3回」ということで、私の不勉強で.バイオガスの極基本的な知識に欠けています。という事で.バイオガスに限らず.ゴミに対する考え方…ということです。																									●
			◎先ず、以下に関してもかなり意見が分かれるものだと思いますがやはり懸命されるのは放射性物質による.土地と空気の汚染です。 　東京は、汚染が進んでいるため、ガレキ受け入れをしても実質変わらないという悲しい現実があると思いますが、それでも「燃焼」されることによって数値が上がることは、日に日に明らかになっています。 　品川、足立の昨年度の公的施設の「公開資料」を見ても、 　・例年より「交際費内お悔やみ」代の支収が増えていること、 　・区内の死亡者の住居がゴミ焼却しせつから近い程、増えているという事実があります。（よね？）																									●
			◎静岡島田のガレキ焼却しせつは、受け入れたものの実際焼却開始後に放射線量の向上、（作物・空間線量）が明らかになってきたため実際.ストップされています。（よね？）			●																					●
			◎埼玉で、「吸っても大丈夫アピール」した市長が数日後に市長室で脳けっせん（？）などで急死。																								●
			以上などなど.もはや「ないふり」はできない状態である、と私は感じています。 先程.新庁舎に初めてきて「柿のワイン」を買いました。「緑地のおさけ」もあったかと思います。 たまたま見た八王子市民測定室に「町田の（庭木）こなら」（たしか小山田？）→チップ状、→木灰｝両方を持ちこまれた方がいらしたようですが.チップ→木灰で、線量が2ケタ程上がっていて.見た目の時点では.「測定結果の中で高いものから2番目」になっていました。 今後の市民の健康　医療ヒ、住民がここを選ぶか去るか→住民税を左右する　大きなポイントに「ゴミ」があると感じています。 世界的SNSでは.「町田のゴミのカンバン」がパロディで使われていて絶賛されています。見ていると思いました。																									●
			④ 今日、参加させて頂き、市民や、専問家の方も意識高く、垣根は低く、一緒に進められていると感じ.聞いていて、予想より少し安心できました。（意外にも！失礼！）																		●						
			バイオガスを発電にもっていき、売ることができるということが、視野に入れられて、やはり、さきがけかと思いました。				●		●																		
			☆ゴミを出さないこと―企業への協力 └地域の物流にも「ゴミを出さない企業をしょうれい」などすすめて下さい。																					●			
			☆「リスクかんり」を入れていった点、よいと思いましたョ 何かあった時には「止めて改善」 ↓ 　業者には、この場合の対応をきちんと文章で、かくやくさせる 　　→数年後の「グレーな」”市なのか民間なのか”の部分含めて.「予告」しておき、業者同志の競争が、安心な日本をつくる手助けにもなるという点も視野に入れ、専問家や企業にしげきを与えるチャンスともして下さい。									●															
			☆実は体調思わしくなく、家族（4家庭）の中で、子ども達4人全員鼻血、爪がとれる、ヒフ炎、耳鼻かけいの病気を異常にくりかえし、こうじょうせん再けんさになりました。 そのため、うち1家族（一家5人）は既に引っ越しました. 我家（都合4人）も引っ越します。近隣でも2けん、引っ越すそうです。住民税、直結とおもいます。 私の大好きな町田、離れたくないのですが、泣く泣くはなれます。一緒に行動できず、申し訳ありません。 守って下さい。おねがいします。																									●
	15	4	小生始めて参加させて頂きました多少広報で知っていましたが具体的にかなり進んでいることにびっくりしています																				●					
			・選別方法（生ごみ）について高齢化が進んで中で、はたして、どうこまで出来るのか（小生の住宅でも1000人以上いますが、60才以上が60～70%です。）																					●				
			・色んな施設が出来ますが近リンの住民にどのように対策を考える必要があるのではないか															●										
			・バイオガスがかなり市民に理解されていない。				●																					
	16	1	じっくりご説明をしていただきましてありがとうございました。 内容を理解するために、後日まで時間を下さい。 いただいた資料を読ましていたゞきましてありがとうございました。																								●
			小計	0	2	2	6	0	2	1	0	1	5	0	1	1	0	3	1	5	2	3	5	2	2	2	3	10

意見交換会会場	意見番号	意見等数	ご意見の主要な内容 （〇は判別不能文字又は特定個人名・特定企業名のため伏せたもの）	1．整備基本計画について											2．建設候補地について							3．委員会や意見交換会の進め方について	4．広報や住民との合意形成について	5．その他・町田市の施策について				意見以外の項目
				（1）現有施設	（2）施設計画	（3）熱回収施設	（4）バイオガス化施設	（5）資源ごみ処理施設	（6）エネルギーの利用	（7）施設の副次的機能	（8）自主規制値・運転管理目標値	（9）建設コスト・維持管理コスト	（10）周辺への影響・安全管理	（11）その他	（1）自然環境の保全	（2）市境からの距離、近隣市との関係	（3）分散化	（4）周辺地域への配慮・メリット	（5）交通状況について	（6）評価方法・項目・配点について	（7）その他			（1）生ごみの分別・堆肥化	（2）ごみ減量化	（3）基本計画の理念について	（4）その他	
7／27 町田リサイクル文化センター	1	2	☆そもそも多くの住民の住む町田内にそのような日本にも前例の少ない（50トンキボでの）施設を町田の地に作ることには基本的に無理が有ると思います。				●																					
			☆バイオガス施設と、廃プラ施設の合体同地区、同施設という可能性は有るのですか？		●												●											
	2	4	全国でこの様な大規模なガス化など全くない施設を造るといづれ老朽化して取りこわす その場合の危険負担を全く考えていない				●						●															
			又、40万都市で成功例も皆無巨額な費用を市民に最終的に押しつけるはがまんできない				●					●																
			自分の金ならこんな馬鹿なことに金を使いますか お答え願いたい									●																
			環境庁に問い合せると北海道の方に小さな町で2ヶ所あるがとても参考にもならないとの事である				●																					
	3	1	1.審議会の「作らない、燃やさない、うめ立てない」はどのように実施されているか。																						●			
	4	1	同程度、同キボのバイオ施設は（公立の）日本のどこに有るのですか？ それらの施設の実績、安全性を確実に検討、けんしょうした上での　今回の建設予定でしょうから、お教え下さい。				●						●															
	5	1	1.資源化施設（バイオガス化）と現在のままのゴミ処理のLCA比較はやったか.やったとすればその結果は.		●								●															
	6	3	資源化施設の建設にかゝるコストを「ゴミ0」の町田市にする為に使った方が良いのではないか									●												●				
			まず限りあるゴミの処理を「資源化」「リサイクル化」という耳触りの良い言葉で片付けないで、まずゴミ減量を市民に訴えることが第一ではないでしょうか。																					●				
			40%の削減目標は、何に対して40%でしょうか？																					●				
	7	3	・建設有りきで説明してるが、他地域のどこかを参考にしてるのか。		●																							
			・施設の分散化はぜったい実行していただきたい。														●											
			・自主規制値はほんとうに守れる技術があるのか。								●																	
	8	1	バイオガス施設は安全で、近憐住民への悪影響は全く無いものである。と最終的に誰が保障し、責任を負いその内容を文書として残すのですか？										●															
	9	1	リサイクルについて 1.前から思っていたのですが食品包装に使っている透明なプラスチックをリサイクルする施設をこの際作れないものでしょうか。					●																				
	10	1	◎バイオガス化施設は市内に何ヶ所計画されているのですか. 2ヶ所予定されているようですが選定条件をはっきりさせていただきたい				●																					
	11	1	メタンガス装置で.生ごみの処理が20%ならば残りの80%を焼却するのですか それでは全量資源化の理論とは異るのではありませんか。				●																			●		
	12	4	1.メタン施設の一極集中はよろしくない				●										●											
			2.生ごみ100%資源化は全く実現されていない																					●				
			3.液肥の割合？どこに棄てるのか？				●																					
			4.小山田に生ごみ・焼却炉の建設は初めから予定されていたのでは？			●	●																					
	13	1	資源循環型施設なんて言っていても、結局はサーマルリサイクル施設ですよね。メタンガスのエネルギー変換効率は極端に悪く、その施設もとてもリスクの多い施設と思います。 6割もの発酵残渣が出て、それをさらに燃やして、熱回収をするのだから、資源の循環になるというのは、いかにもまやかしである。		●	●	●																					
	14	2	・バイオガス化施設建設の必要性がよくわかりません。 手間とお金をかけて生ごみをバイオガス化することが市民住民のメリットになるのか？疑問です。				●					●																
			・生ごみのバイオガス化施設は、まだ日本にはあまりありません。町田の施設は実験のようでこんなに大きな施設をリスクをおかして作ることはないと思います。 どうしても必要であるならば、もっと小さい規模で実証実験をして、安全性を確認してから考えるべきではないでしょうか。				●						●															
	15	1	①建設候補地選定の際.現在のリサイクル文化センター建設当時の「土地利用計画　まちづくり計画」の市のマニフェストとの整合性について （1）東京都市モノレール中継基地建設 （2）総合グランド建設																	●							●	
	16	2	安全対策には充分配慮した構造のものを建設するならば、住宅が密集している地区が近接して（評価項目の3））いてもいいはず。ごみ処理施設はもっと町中に作ってほしい。候補地を見るとすべて市のはじになっているのはおかしい 土地の広さが足りないならば施設を小さくすればいい		●										●					●									
			※「バイオガス化施設・熱回収施設等の候補地」は「資源ごみ処理施設の候補地」をかねています…。一極集中をさける、分散化をすることと矛盾しませんか														●											
	17	2	下小山田にはリサイクルセンター、多摩のゴミ処理があり挟まれる形になっています ここにもう1つできる場合の環境への配りょが心配です															●										
			又、下小山田は都市計画があり道路拡張や民家立退きが計画されています。計画どおりゴミ処理建築した場合、双方のトラックの数建機の横来その排気ガス、通学の安全等も心配です																●									
	18	2	◎第三次選定　評価項目・配点が近似した場合の評価（採択・切捨）はどう行うのか。																	●								
			◎この作業の情報提供はどう考えているのか																		●		●					
	19	3	①今回の配点表（案）で配点した場合のバイオガス化施設の候補地上位3ケ所を明確にして下さい。																	●								
			リサイクル文化センターに設置する場合地域住民の反対は強く、建設は困難と思われます。 ダイオキシン等の問題で学識経験者のやり方には不満があり、結論ありきから導かれている為。																				●					
			②バイオガス化しても残さが出　ごみは減らない事と.その工程で異臭ができのでは　この異臭は、どの様に回収するのか。大型のバイオガス化施設は必要ない				●																					
	20	2	旧住宅公団が開発で現在の最優先候補地の条件がととのっている。他市町村でも同じようなごみ施設建替でもめている点も、建設地問題の解決となると思いますので、その情報も知らせて欲しい。																		●							
			このリサイクルセンターが候補と決めるなら、当該地域に再エネルギーを供給（無料）でる様して欲しい						●									●										
	21	1	1.三次選定項目・配点表（案）について ①現状のリサイクルセンターを評価配点していれば教えて下さい ※選定項目はリサイクルセンター建替え有りきに思えるのですが。 ・選定項目はリサイクルセンターが満点近くになるように作成されている様に思える。																	●								
	22	1	施設建設地の住民との話し合を最優先的に実施してもらいたい																				●					
	23	1	北部丘陵整備事業用地に集中するのはなぜ 緑地を保全するのではないでしょうか。												●													
	24	1	評価項目の中に地区住民の感情を評価項目に入れて評価してもらいたい。																	●								
	25	2	最終的に土地が無いので ☆プラッチック資源化施設とバイオ施設の一体化の可能性についてお知えて下さい ↓ （同じしき地内という意味です）		●																							
			評価項目について ☆近隣に教育、福祉施設が無いか？という点を加えて下さい																	●								
	26	2	コストの高いバイオガス化をするのか				●					●																
			いままで50年リサイクルセンターで町田のゴミをしよりしてきたので他の地域に変へて下さい。	●																	●							
	27	1	1.第三次選定評価対象候補地（案）では、現リサイクル文化センターの周辺が多く、忠生地域の中に候補地が選定される可能性強い。 ①種々の条件はあるが、他の地域の候補地を多くされたい。 ②分散化といいながら、分散化の可能性は低いのではないか？														●				●								
	28	1	市のゴミ行政に対するビジョンが無く、今回の建設にしても、3～5年で建設地を決める様で有るが、もっと時間を掛けないと、どこの場所でも反対運動が起り、無理である。														●						●			●		
			何でもかんでも小山田にゴミが集中してしまう。 これ以上小山田に何も造らないで欲しい。																		●							
	29	2	1.　1.バイオガス化施設プロセスフローを資料として添付してほしい。 30億円 2.熱回収（焼却）施設			●	●																					
			2.　第三次評価点数の基準が不明である。																	●								
	30	1	・第1次選定.第2次選定に疑問あり																		●							
	31	1	（1）しっかりとチェックされ、すばらしくけんとうされた方々、ほうんとうにたいした内容です。 （2）中味をしらべ、説明内容とあわせて、自家に保存します。																									●

意見交換会会場	意見番号	意見等数	ご意見の主要な内容 （〇は判別不能文字又は特定個人名・特定企業名のため伏せたもの）	1．整備基本計画について											2．建設候補地について							3．委員会や意見交換会の進め方について	4．広報や住民との合意形成について	5．その他・町田市の施策について				意見以外の項目
				（1）現有施設	（2）施設計画	（3）熱回収施設	（4）バイオガス化施設	（5）資源ごみ処理施設	（6）エネルギーの利用	（7）施設の副次的機能	（8）自主規制値・運転管理目標値	（9）建設コスト・維持管理コスト	（10）周辺への影響・安全管理	（11）その他	（1）自然環境の保全	（2）市境からの距離、近隣市との関係	（3）分散化	（4）周辺地域への配慮・メリット	（5）交通状況について	（6）評価方法・項目・配点について	（7）その他			（1）生ごみの分別・堆肥化	（2）ごみ減量化	（3）基本計画の理念について	（4）その他	
7／27 町田リサイクル文化センター	32	3	2回目の意見交換会で少しづつ施設の目的・役割・方向性が見えて来ました。環境先進都市を目指す町田市で、43万人民を抱え、環境に配慮した資源の有効活用に取り組む姿勢は大賛成です。生ごみは絶えることのない資源ですから…		●																						
			迷惑施設だから地元にインセンティブをなどと貧しい心を持つことなく、本当にあって良かったと思える様な施設を作るように心がけて頂きたい。		●													●									
			市民の出すごみです。我が事として前向きに、安心・安全・安定の為の仕組み作りを考えたい。その為に市として市民と共に検討する組織を考えているのか。							●																	
	33	1	・ごみ処理施設以上の迷惑施設である南多摩斎場がある地域については、ごみ処理施設の対象地域から完全に除外すべきである。 各地域を平等に扱ってほしい。 一部の地域に施設を押しつけるのはやめてほしい。 ごみ処理施設は、ごみを大量に発生させる地域に建設するのがスジである。																	●	●							
	34	1	緑を残すといいながら、なぜ小山田の方ばかりに作くるのは反対です。 バイオはよくわかりません												●						●							
	35	2	1.北部丘陵地は緑地の保存をしたいとの意向であったのが、建設候補地が確保可能な地域としている。 ①一車線の道路では交通障害と安全性に問題あり ②緑地保全と相反する ③北部丘陵地の緑地は、町田市の都市計画で市街化調整区域にし、開発を抑制している地域で、市街化区域の見直しをもせずに建設候補地に選定することに納得できない。												●				●		●							
			2.歴史ある小山田地域（上・下小山田町）は、北部丘陵の保全で確保し、建設候補地としないで欲しい。												●						●							
	36	2	1.建設候補地は評価項目の配点が最高候補地で決定するのですか 最終決定者は誰れですか																	●	●							
			2.何故　候補地を2013年3月迄に決定しなければならないのか 更に市民の理解を得られるように説明会を開催してほしい。																			●	●				
	37	2	1）建設候補地選定 本日の意見交換会で二次選定までの流れが判ったが、三次選定での評価によると思いますが。どこに建設するが最も関心があります。一極集中になるのは反対します。この点を配慮した選定していたゞきたい。														●										
			2）施設検討 全体の流れは判ったが、近隣地域の環境対策は具体的にどうなっているか？										●														
			小計	1	8	3	16	1	1	1	1	5	6	1	4	0	7	3	2	9	12	1	5	1	3	3	1	1

意見交換会会場	意見番号	意見等数	ご意見の主要な内容 （○は判別不能文字又は特定個人名・特定企業名のため伏せたもの）	1．整備基本計画について											2．建設候補地について							3．委員会や意見交換会の進め方について	4．広報や住民との合意形成について	5．その他・町田市の施策について				意見以外の項目
				（1）現有施設	（2）施設計画	（3）熱回収施設	（4）バイオガス化施設	（5）資源ごみ処理施設	（6）エネルギーの利用	（7）施設の副次的機能	（8）自主規制値・運転管理目標値	（9）建設コスト・維持管理コスト	（10）周辺への影響・安全管理	（11）その他	（1）自然環境の保全	（2）市境からの距離、近隣市との関係	（3）分散化	（4）周辺地域への配慮・メリット	（5）交通状況について	（6）評価方法・項目・配点について	（7）その他			（1）生ごみの分別・堆肥化	（2）ごみ減量化	（3）基本計画の理念について	（4）その他	
7／28 小山市民センター	1	1	プラスチック、ペットボトル等の市の回収はやめ事業者回収処理を働きかけるべきだと思います。事業者回収処理を義務づけるよう市は国に働きかけるべきだと思います。					●																		●	
	2	1	先程のバイオ発電の利益で太陽光発電を増やす事は、バイオ発電やバイオガスを地域に還元するのもいいが、それでは再生可能エネルギーがどんどん増えていくことがないと思う。 売電利益で太陽光発電を増やせば再生可能エネルギーが、もっと多くの再生可能エネルギーを作る施設（太陽光発電所）を増やす事になり、町田市内のエネルギー自給率自体を押し上げていくという事が言いたかったです。						●																		
	3	1	・バイオガスと軽油とでは、どちらが環境にいいのですか。また災害時に対応がいいのはどちらですか。				●							●														
	4	2	発電利益をすべて太陽光発電の補助金に充当したら良いのでは？なぜなら、バイオガス化の理念に沿っているからです。今年私は補助金で太陽光発電を付け、自宅の電力を太陽光発電でまかなっています。 悪いイメージより.脱原発、脱東電、CO_2削減などのイイイメージの方を大きくする為にも！←用地周辺の住民は優先的に補助金で太陽光をつけられるとか、多めに補助金がもらえるとかあってもいいのでは。						●									●										
			施設が出来て.体調不良（どんな基準があっても、体調に変化が出るレベルは、人それぞれですから。）をうったえた家の移住の権利を認め、費用を市（市民全体で）で負担するべきだと思う															●										
	5	2	1.せっかく発電したり、ガス化するのだから地域に還元してほしい						●									●										
			今まで3基で476t/1日→217t/1日の施設をつくるということは、今よりも小槻ぼの焼却施設を建設するということでしょうか.			●																						
	6	2	①意見交換会の開催日について 地方町会ニで年1度の行事がある日の開催は不適である。 今後留意願い致																			●						
			②プラスチックのリサイクルについて 1）現行のリサイクル法不備が多い 2）単なる”燃やさなければ＝資源化の発想でなく”経済性”＝”環境”の両面を見据えて市対応すべき。		●			●																				
	7	1	上沼公園が除かれた理由をもう一度お願いします。																		●							
	8	1	各選定地の地域町名を聞きたい。																		●							
	9	2	①市境における施設建設について、どのように市同士で情報交換や調整が行なわれているのか？最近、尾根幹道の八王子/町田市境にゴミ施設が建設されたようだが、事前どころか、今だに町田市民への説明は無い。 相模原/町田市境のプラスチック処理工場の際も同様であった。市境は見捨てられた地区の様で、不信がぬぐえない。												●											●	
			②「災害やその他の原因によって万が一問題が発生した場合の対応策」とあるが、どのような事象が想定され、その影響をどう評価しているのか明確に示していただきたい。										●															
	10	2	・小山上沼公園が候補地になっていたようですが、このような住宅地が近隣に多く存在する”公園”がなぜ候補地になっていたのか疑問を感じていました。（除外されたのでひとまず安心しましたが）																		●							
			・収集車の通行による悪影響は、なにも学校や福祉施設へのものだけではないと思います。今後長期の予測に基づいた渋滞などへの影響も考慮すべきと考えます。（上記小山上沼公園は、この点でも渋滞が問題になっているエリアと思いますので不適だったと考えます）																●									
	11	1	追加ご意見メモ ・現状の目標値を示して比較をアピールしては ・バイオガス ・うんてんかんりの目標 きせいちーせっけいち うんてんかんりの目標				●				●																	
	12	3	町田市のごみの資源化施設建設に対する意見 28日に小山市民センターでの意見交換会に参加してこれから建設しようとしている焼却施設の規模が現在の施設の半分以下のものを作る予定と聞き良かったと思いました。町田市がごみを減量していこうという姿勢の表れなんですね。			●																			●			
			基本理念「ごみとなるものを作らない・燃やさない・埋めない」をきっちり守っていってほしいと思います。そこで、地球の為に子どもたちの為により良い環境を残したい、そのためにごみを減量していこうという気持ちになる市民が増えるように啓蒙・啓発にも力を入れていってほしいです。																							●		
			その啓蒙・啓発を行えるような研修室やごみ処理場の見学ルートなども充実させてほしいです。（リサイクル広場も常設して小学生の施設見学コースにするとか、戸田市のように生ごみを持ち込んだ方に花の苗24株プレゼントとか、容器リサイクル法の対象の袋を圧縮して袋に入れて持ち込んだ方には新しい袋を渡すとか・・・）							●																		
			建設候補地やどんな施設を作るかが決定した後はその施設の設計を行うときにも市民の声は聞いていただけるのでしょうか？		●																		●					
			焼却施設や資源化施設は確かに迷惑施設です。でも町田市民全員がごみを出す以上は町田市民全員にとって必要な施設でもあると思います。		●																							
			迷惑な部分だけがクローズアップされるのではなく、これらの施設があってよかったって思えるような仕組み作りがあるといいなと思います。そんな仕組み作りに市民も参加したいと思います。																				●					
			小計	0	3	2	2	2	3	1	1	0	1	1	0	1	0	3	1	0	3	1	2	0	1	1	2	0

意見交換会会場	意見番号	意見等数	ご意見の主要な内容 （〇は判別不能文字又は特定個人名・特定企業名のため伏せたもの）	1．整備基本計画について											2．建設候補地について							3．委員会や意見交換会の進め方について	4．広報や住民との合意形成について	5．その他・町田市の施策について				意見以外の項目
				（1）現有施設	（2）施設計画	（3）熱回収施設	（4）バイオガス化施設	（5）資源ごみ処理施設	（6）エネルギーの利用	（7）施設の副次的機能	（8）自主規制値・運転管理目標値	（9）建設コスト・維持管理コスト	（10）周辺への影響・安全管理	（11）その他	（1）自然環境の保全	（2）市境からの距離、近隣市との関係	（3）分散化	（4）周辺地域への配慮・メリット	（5）交通状況について	（6）評価方法・項目・配点について	（7）その他			（1）生ごみの分別・堆肥化	（2）ごみ減量化	（3）基本計画の理念について	（4）その他	
7／28 堺市民センター	1	3	①建設候補地から除外する理由に”地区計画”との説明がありましたが、地区計画とは何か？教えて欲しい。																		●							
			②三次選定の項目で、考慮が不足している項目があるように感じる。 （例）二車線道路があっても、既に渋滞してる道もあれば空いている道もある。現在の渋滞状況を考慮すべき。 （例）近隣の人口を考慮しているようだが、増加傾向にあるのか減少傾向にあるのか？これから体の成長がある若年層の割合の考慮等が必要では？																●	●							
			③近隣の住民の理解はどのようにして得られたと判断する予定かを確認できればと思います。賛否の集計をとって結果を出すのでしょうか？																			●					
	2	1	資源ゴミ処理施設は2ヶ所に分散化するのに対し「熱回収施設」と「生ごみバイオガス化施設」を一体化することの理由は分かりましたが、何故一ヶ所しか作らないのか理由が分かりません。ご説明できるようであれば、ご説明願えませんでしょうか。			●	●																				
	3	2	どんな施設？について 申し訳ないが、具体的なイメージがわかない。機能や性能については数字のとおりと思うが結論が美辞麗句になっているように思われて来ます。もう少し（もっと）具体的な例示（他の地方でおこなわれている施設の実例など）があればよりイメージがつかみやすいと思います。今日の説明では、どこかの政府の「原発は安全有効」という言い方と同じように思います。		●									●														
			どこに健てる？について 相原町に候補地がありますが、お話の様子からすでに地権者と交渉が進んでいるようですが、個人情報と情報公開のバランスをどのように考えておられますか。																	●							
	4	1	（感想Ⅱ） まちだ広報7/21付の内容より 本日の[A3裏表]資料を出して意見募集された方が〇〇〇した上での意見が出ると思います。																		●						
	5	4	（感想として） はじめて出席する者です。今年「ごみ減量サポーター」となって始めてリサイクルセンターを見学しました。 今日の意見交換会では検討委の経過が少し理解出来たように思います。																		●						
			質問 ①基本計画の2021年度の町田市民人口の想定は43万人とみているのでしょうか		●																						
			②現在のリサイクルセンターはどうするのでしょうか	●																							
			③資源化施設2ヶ所は成程と思いますが、熱回収施設（30億＋120億）の投資の必要性どうか（基本計画で承認されているので逆もどりは出来ないと思いますが								●																
	6	2	1.バイオガス化施設に50トンの生ごみを入れて何トンの残さが出るのでしょうか？ 残さの量を10分の1以下にする事を考えて施設を作ることを進めて下さい。				●																				
			2.建設予定地周辺のメリットとして.電気、水など　ガス等、例えば災害時のライフラインとして利用する事ができる様な事を検討してほしい。						●									●									
	7	1	・熱回収施設には温水プールを作って欲しい.（意見）							●																	
	8	1	◎エネルギーの使い方について： 発電、都市ガス生成について、建設地周辺の産業支援（農業や企業団地etc）を行う目的とする考え方は無いですか。建設地周辺の用地拡大取得や開発は必要になりますが、環境配慮を踏まえ、地元の意見を取入れながら、町づくりや地域経済の発展が図れると良いのですが。						●									●									
	9	1	1.資源ごみ処理施設が市内に2ヶ所新規に作られる場合 1つは標準となる敷地面積 12,000[㎡] であるのに　もつ1つは、 7,500[㎡] と狭くなるというのはどうしてなのかお教え下さい。											●													
	10	1	1.生ごみを町田市内の農家が肥料として使用したいと考えていても実際問題としては、全く足りない情況になっているようですが、これに対する具体的施策があればお教え下さい。																					●			
			小計	1	2	1	2	0	2	1	0	1	0	2	0	0	0	2	1	1	2	2	1	1	0	0	0	0
7／30 南市民センター	1	1	バイオガス化施設や熱回収施設の、周辺に対する具体的なメリットの内容は？								●							●										
	2	1	候補地にあたる地域住民との話し合いの方法？ 専門的な知識が必要な部門の判断と基本的な住民感情でのイメージ意見をどう吸いあげるか。住民全員は無理としても自治会、町内会、その他意見が出るとしても老人、高令者等の意見が受け入れられるのが難しいのでは？ 住民の意見の吸い上げ方に問題																			●						
	3	2	評価項目と配点について： 土地利用中の市境からの距離の配点が1は余りに低く過ぎるのではないか。													●				●								
			他市からの反対が出れば計画を見直す必要が出るのではないか。													●												
	4	1	・万が一の事故、災害などによる例えば、ガス爆発、ガスもれ、火災などによる周辺住民の住宅密度、病院など非なん計画など このような施設についての事故管理 周辺住民への安全管理への評価項目はないのか。どのように考えているのか 乱筆すいません										●							●								
	5	2	1.建設予定地に於て環境の負荷を与えないことは勿論ですが、配布資料の式次第の各頁の上段の右側に書かれている「周辺への必要な対策の検討を行う」と書かれています。 又、Q10に於ける建設予定地、周辺のメリットとして、何を具体的に考えていますか															●										
			2.最終の建設候補地を決めたら、その周辺住民との対話集会をどの様に考えているのですか。 バイオガス化施設と廃プラ資源化施設とは対応が違うと思いますが、如何ですか																			●					
	6	2	バイオガス化50TON/Day〇換と云われても、市民の皆さんは全体像が見えてこないのではありませんか。				●																				
			〇堆肥化できない、19,000トンから想定される〇換の装置と思われますが、この機会にもっと発生抑制の対策を市民に提起する必要があるのではありませんか。																					●			
	7	1	施設に関する質問です. 基本理念にある「ごみになるものを作らない・燃やさない・埋めたてない」の中の「ごみになるものを作らない」取り組みのアピールが出来る様な施設内スペースは何か考えていますか？ PL法も含めて企業側にアピールすることも大切かと思います。							●																●		
			小計	0	0	0	1	0	0	1	1	0	1	0	0	2	0	2	0	2	0	0	2	0	1	1	0	0

意見交換会会場	意見番号	意見等数	ご意見の主要な内容 （〇は判別不能文字又は特定個人名・特定企業名のため伏せたもの）	1．整備基本計画について											2．建設候補地について							3．委員会や意見交換会の進め方について	4．広報や住民との合意形成について	5．その他・町田市の施策について				意見以外の項目
				（1）現有施設	（2）施設計画	（3）熱回収施設	（4）バイオガス化施設	（5）資源ごみ処理施設	（6）エネルギーの利用	（7）施設の副次的機能	（8）自主規制値・運転管理目標値	（9）建設コスト・維持管理コスト	（10）周辺への影響・安全管理	（11）その他	（1）自然環境の保全	（2）市境からの距離、近隣市との関係	（3）分散化	（4）周辺地域への配慮・メリット	（5）交通状況について	（6）評価方法・項目・配点について	（7）その他			（1）生ごみの分別・堆肥化	（2）ごみ減量化	（3）基本計画の理念について	（4）その他	
7／31 成瀬市民センター	1	3	意見質問 メタン：2011/4計画で調査研究後に決定するとある　それが2015/5に〇〇決定されたとある ・堆肥化の利用者がないからメタン化する 他市へ売る方法だってある そもそももやさないはずのごみを19000t近く（メタンももやす）ももやすのは基本理念に反する				●																		●		
			・30年も40年も先まで、生ごみも可燃ゴミも一緒に回収されて行くのは、市民として悲しい。誇りもなくなる 減量意識も向上しない																				●	●			
			これまでの経過をみると交換会の意見はガス抜きで委員はその気になって改めようとしてない ガス抜き会議なら、税金の無駄である																		●						
	2	1	ペットボトルを圧縮するとガスが発生するとの事で活性炭で吸着する旨ですが、活性炭を焼却炉でなくロータリーキルン等で活性炭を作って同じ施設にすれば場所を少なくできる					●																			
	3	4	・生ゴミを家庭で処理という事ですが.出来た腐葉土の処理はどうしますか。家庭では処理できない場合。																				●				
			・熱回収施設！ 燃焼サイクルはどう維持するのですか。 発火、継続燃焼			●																					
			・現行での売電状況、計画での売電予算は？						●																		
			・建設予算の中には既設施設の売却費等も含まれてますか！									●															
	4	2	・エコセメントにするというお話ですが、放射能に対してはどう対策をとっていますか？											●													
			・日の出町に持って行くというのは申しわけない気がする。 町田市内で最終処理をする方法はないか？											●													
	5	1	・評価項目・配点表（案）について 今回、町田市は「一般廃棄物資源化計画」に基づき、施設を建設する。 「資源化する」が市の最も大切な施策と考えるが、現在の配点表は「5）余熱等の利用」に対する評価があまりにも低い。 改善を求める。																●								
	6	2	第三次選定の評価項目の配点表（案）に於ける点数の割り振り方が今尚しっくり理解できません。																●								
			建設地検討部会の人だけでなく、全員での評価と思われますが、2個所の専門部会の人の理解の度合いが違っているのではありませんか																		●						
	7	2	どんな施設　結構と思います											●													
			どこに設置　意見はありません																	●							
	8	2	①八王子市とのごみ処理施設建設にあたり問題となっているようですが、現状、測定での状況にどうなっているか。 他の隣接市との話し合い、意見交換会等の状況は如何なっているか。													●											
			②昨年の東北大地震に発生した「ガレキ」の受け入れは？町田市として。 （都は受け入れ、埋めた地区に受け入れているが。）																							●	
	9	2	施設の活用について ・基本理念の「ごみになるものを作らない・燃やさない・埋めたてない」の、「ごみになるもを作らない」のアピールが弱いと思います。施設（資源化）建設にあたって、資源しにくい物の説明・展示・処理の仕方等を市民に見てもらったり、製造する企業にアピールすることも大切かと思います。 御検討下さい。																						●		
			提案・意見です ・意見交換会は夜7時からということで、若い人の参加が難しいと思います。今後の社会を担う若い人達にも理解を得られる様な方法も考えられては如何でしょうか。																		●						
	10	4	建設費が高額ですが何年ぐらいで採算が取れるのか？									●															
			回収車の民間委託は検討してますか。											●													
			維持管理費の内訳は人件費ですか									●															
			建設候補地に住んでいますが、決定する前に町内会に、今日の委員会の方の説明などありますか。																			●					
	11	1	生ゴミの自家処理.堆肥化をすすめたいのであれば.住民を組織化してグループ分けして.フォロー体制を.確立する必要があると思います。（市は組織化のフォローを！！） 実は私もマンションで.EMで行っていました。かなり細かい生ゴミまでもやっていましたが.EMの入手ルートがなくなったことと.出来上がった物をうめる土地がなかったことから.やめてしまいました。私と同じ様な思いをしている方も少なくないと思いますし.やる気持ちのある人をがうもれてしまわないように.する必要は絶対にあります。 よろしくお願いします。																				●				
	12	1	建設候補地についての提案です。 町田市民のごみ環境意識を向上させる為には.一極集中型にならない事が必要であり、バイオガス化施設と.資源ごみ即ち、廃プラ処理施設は.同じ場所でなく.廃プラだけの施設を2個所に分散する事により.市民の意識を向上させるべきと思います。 即ち、3個所に分けた施設にするべきです					●								●											
	13	1	バラ色の目標と花火を打ち上げてあおっているみたいですが.建設予算のしぼり込みが全くされてないなく、天井なしの計画に聞こえました。									●															
			小計	0	0	1	1	2	1	0	0	4	0	4	0	1	1	0	0	2	1	3	1	3	1	2	1	0

意見交換会会場	意見番号	意見等数	ご意見の主要な内容 （〇は判別不能文字又は特定個人名・特定企業名のため伏せたもの）	1．整備基本計画について											2．建設候補地について							3．委員会や意見交換会の進め方について	4．広報や住民との合意形成について	5．その他・町田市の施策について				意見以外の項目
				（1）現有施設	（2）施設計画	（3）熱回収施設	（4）バイオガス化施設	（5）資源ごみ処理施設	（6）エネルギーの利用	（7）施設の副次的機能	（8）自主規制値・運転管理目標値	（9）建設コスト・維持管理コスト	（10）周辺への影響・安全管理	（11）その他	（1）自然環境の保全	（2）市境からの距離、近隣市との関係	（3）分散化	（4）周辺地域への配慮・メリット	（5）交通状況について	（6）評価方法・項目・配点について	（7）その他			（1）生ごみの分別・堆肥化	（2）ごみ減量化	（3）基本計画の理念について	（4）その他	
8／1 鶴川市民センター	1	2	①関係団体として町内会自治会のメンバー8名も入っているがスブの素人がだんだん学習して成長していくのでその努力はよしとして、彼らの評価はにわかには受けつけがたい。 専門家の点数と同列に評価対象となるのか？																	●								
			②上記の団体の人たちの自分の地域にもってきたくない意識は当然あるわけで.それらの有意性はどう公平な評価をとるわけで考えるのか？																		●							
	2	4	・資源化計画P.22に生ごみだけを機械選別することができると書いてあるので、残さには不純物が少ないはずではないかと思います。 又、バイオガス化したことにより、生ごみの絶対量は減るのでしょうか。				●																	●				
			「残さ」の量は元の生ごみの量とあまり変わりがないように思えます。 その場合."燃やさない"という理念は、やはり守られないのではないでしょうか。残さをどうするかという問題はこれからも検討を続けてほしい。																						●			
			・生ごみの放射線量測定はなされますか？当然現在の処理法においても気になるところですが。											●														
			・電力量と、その消費先をもう少し詳しく教えてください。どこへどれだけ使われるのでしょうか。						●																			
	3	2	三輪エリアに平場（ヒラバ）があって.二車線道路から500m以内という場所があるといわれても.具体的な.提示がなされないとわからない																		●							
			エネルギーの利用は、電気にして.その施設の作られる地域にかん元するというのは.どうか						●									●										
	4	3	・三輪エリア　民有地は了承したのか？																		●							
			・どの様な基準でえらばれたのか？																	●								
			・横浜市　寺家　緑地帯の近くだと思うが自然環境に配りょされているのか？												●													
	5	1	◎配点により　結果に重大な影響が出る。配点案についての更に掘り下げた内容の説明が必要と思われる。悪く云えば配点内容の重みで、結果をcontrol出来るのでは？																	●								
	6	1	・12月に建設候補地につき採点結果をとりまとめ地元との説明会を行うとのことであるが、資源ゴミ回収施設について、これは、市内2カ所に候補地をしぼってその住民に対し行うのか それとも12カ所の候補地すべてに対し行うのか																				●					
	7	1	《ご質問・意見メモ》 町田市は福祉もそうですがリサイクル文化センター等常に時代の先頭を走ってきた歴史があります。 先日.ラジオで住んでみたい町の3番目か4番目に上げられていました。やはり過去のイメージも大きかったのではと思っています。 今回の説明を聞き、単にごみの問題だけでなく先駆的なイメージを受けました。 安心で安全な施設であれば、良いことだと思います。 更なるイメージアップというプラスαも加わるので.それなりにお金もかかるでしょうが、それなりの価値があれば良いのではないかと思いました。																									●	
	8	1	ごみ処理場（竜谷）が、第3次選定に残った経過について聞かせて下さい。 これは多摩市との市境で急傾斜地で施設の建設地として不適合と思います。													●												
	9	1	・生ゴミ堆肥化を家庭で進める　処理機は電力を使うので　大型処理機も含め再検討をしていただきたい。 又、家庭から出る食品残さの生ゴミが多いとも思えない どの様な調査で算出しているのでしょうか？ 紙ゴミがほとんどでは　ゴミの問題は非常に市民1人1人が考え方が違うのでむずかしい問題ですね。																					●				
	10	2	・エネルギーの使い方について 公共の施設や交通機関などに有効に利用してほしい。ゴミの減量化やリサイクルに取りくんでも、ムダなことが多いような気がします。						●																			
			・資源ゴミの衣類についてですが.ある自治体では市民同士が交換したり、売ったりできる場所があると聞きました。 町田市でも検討してもらいたいです。																						●			
	11	1	①施設の運営は市が行なうのか。又は民間に委託して行なうのか。 ②施設は市が建てるのか？土地の買収も含めてどうするのか、又は民間に任せるのか、											●														
	12	1	稼動年数は何年を想定していますか。											●														
	13	1	10年、20年先をみすえた資源化施設のあり様を市民協働で議論してきましたが、次の世代の市民がなるほどと.思ってくれるような施設であって欲しいと思います。 個人的には生ごみは都市に残された最後の枯かつすることのない資源だと思っています。人間が暮らしている以上…この生ごみを有効に堆肥にしたり.エネルギーとして活用することは時代の先取りをする素晴らしい施策だと思っています。ヨーロッパでは早くから取り入れて来ましたが、やっと43万人の人口を抱える町田市が勇気を持って取り組んで下さることに大賛成です。 出来ないことをヤレヤレと言っていてもはじまりません。 大くの人民に受け入れられる施設を是非進めて頂きたいと思います。		●				●																				
	14	1	説明を聞いていて。出来るのかな？という疑問・不安も全くなくはありませんが.これからの若い人達にひと昔前のやり方をおしつけてみても出来なかったら.また考え直さなければなりません。 勇気を持って新しいことに取り組む時期かもしれません。 町田はすごいねと言われる様な施設にして下さい		●																								
	15	1	資源化施設の分散化が2ヶ所では分散化とは云えないのではないか、														●											
	16	1	建設候補予定地に決まった地域住民の、生活上のメリットは有るのか。 例）　温水配管 蒸気配管｝暖房等利用															●										
	17	1	種々　詰める時間が余りなさそうですね。小生のスケジュールを作ってみるとこんな日程ですか？ 2013年　デザイン完成ならば、 2015年　造成工事着手 2017年　建物建設・プラント発注 2019年　プラント完成予定 2020年　1年テストランニング		●																								
	18	2	配点案の中で×、0（ゼロ）点の扱い方のちがいについて 0点の場合　除外の×にならないのか たとえば敷地が緑化保全に該当する場合、このことだけて　施設配置除外としないのか。 環境保全に関して評価配点を高くしてはいると思えるが…。																	●								
			・採点結果は公表するのか																	●								
	19	3	◎大変重要な試みで、賛同する。 市民全体の意識向上を今後とも推進していってほしい。																								●	
			◎我が団地でも生ゴミ処理機を本年3月までに12台導入したが、住民からも好評なので、更に数台増設したい。 メーカーの〇〇が製造中止したとのこと。市内のメーカーに引き継いでほしい。																					●				
			◎建設地周辺住民の説得が心配。																				●					
	20	1	配点表（案）　3）土地利用④市境からの距リについて1ですが、多摩市は10と考えませんか。 対市との話し合いもよろしく。													●												
	21	4	・鶴川駅前で寺のそばの竹林が大変きたないが市が管理代行出来ないか？																									●
			・市で処理した生ゴミ肥料は公園の木を育てるのに使用しているか																									●
			・emを広めるためにどれだけ努力しているか																								●	
			◎候補地に液状化現象が予想されることを考慮しているか																		●							
			小計	0	3	0	1	0	4	0	0	0	0	3	1	2	1	2	0	5	4	0	2	3	1	1	3	2
			合計	2	18	9	29	5	13	5	3	11	13	11	6	7	9	15	5	24	24	10	18	10	9	10	10	13

市民から寄せられた意見（メールや郵送等 ）

						1. 整備基本計画について											2. 建設候補地について							3. 委員会や意見交換会の進め方について	4. 広報や住民との合意形成について	5. その他・町田市の施策について				
意見番号	提出方法	お住まいの地域	受付月日	意見等数	ご意見の主要な内容 （○は判読不能文字又は特定個人名・特定企業名のため伏せたもの）	（1）現有施設	（2）施設計画	（3）熱回収施設	（4）バイオガス化施設	（5）資源ごみ処理施設	（6）エネルギーの利用	（7）施設の副次的機能	（8）自主規制値・運転管理目標値	（9）建設コスト・維持管理コスト	（10）周辺への影響・安全管理	（11）その他	（1）自然環境の保全	（2）市境からの距離、近隣市との関係	（3）分散化	（4）周辺地域への配慮・メリット	（5）交通状況について	（6）評価方法・項目・配点について	（7）その他			（1）生ごみの分別・堆肥化	（2）ごみ減量化	（3）基本計画の理念について	（4）その他	意見以外の項目
1	メール	小山町	8/1	1	広報によって公表された評価配点における考え方についての（案）を意見として提案します。 1）選定フローの考え方と評価点については同意します。 2）ただし、「評価する」という考え方については意見として提案します。 ≪考え方（方法）≫ ①大項目としての現在提示されている満点の配点は無くします。 ②各委員の提示した小項目の配点をポイント点とします。 ③各小項目の評価を0～5の6段階とします。 ④②のポイント点と③の評価点を掛け合わせます。 ⑤④の点を大項目の評価点とします。 ⑥合計を総合評価点とします。 ⑦この総合評価点を施設建設候補地の判断基準の参考として提案します。 ≪理由≫ 現在の項目による配点は各委員の考え方による項目別の重み付けは理解できます。しかし「評価する」という点において、小項目での満点方法でのばらつきは好ましくないと考えられます。 各委員の考え方のまとめをポイント点として表わされ、それを評価点と掛け合わせることにより数値は大きくなりますが、総合評価の判断がし易くなるのではないかと考えられます。																	●										
2	FAX	下小山田町	8/2	4	・7/27 第2回市民意見交換会に参加致しました。 ごみの資源化施設が主な検討議題となっており「ゴミゼロ」「ごみの減量」への推進が忘れられているように感じます。 以前　ごみの有料化が決定されてより目立った活動はされていないのではないでしょうか。 施設建設以前にまだまだやるべきことがあるのではないでしょうか。 市も市民もやるべきことをやっていないのではありませんか。 例えば、生ゴミの堆肥化。現状では堆肥の受け入れに限りがあるようですが、他に奇策は考えられないものでしょうか。 またプラスチック等は市民のみならず企業への働きかけを含み減らす努力が必要ではないかと強く思います。 すでに動いていただいているのでしょうか。																						●	●			
					・施設建設を推進するのであれば、より中味の濃い意見交換会を望みます。 さらに当問題に詳しい専門家や研究者の説明も希望します。 このまま第3次選定で決定することになるのでは、到底納得できるものではありません。																			●						
					「ゴミを出さない！出させない！」が最重要課題です！																						●			
					巨大な施設はどんな施設も子供たちは望んでいません！		●																							
3	FAX	図師町	8/7	2	意見その1 当該意見交換会において配布された「ごみの資源化施設と候補地についての質問と答え」のQ5「バイオガス施設は・・・悪臭が出るのではありませんか？」のA5において、「悪臭については、メタンガスも二酸化炭素とも無臭です。・・・ごみの搬入口を建屋内とし、・・・その臭気は確実に脱臭処理します。」としています。 確かにメタンも二酸化炭素も無臭であり間違いではありません。しかし、Q5の回答としては嘘を言っていると取られ、市の信用を失いかねないと思います。 嘘ではなく本気で搬入口だけの対策でよいと思つているとしたら、とんでもないことになると思います。 バイオガスは嫌気性発酵の産物ですから、発生時には硫化水素は1%近く含まれる可能性があり、そのまま吸引すれば致死に至る量です。また、アミン類、メルカプタン、硫化メチルといった悪臭成分も含まれます。 搬入口はもちろんですが、バイオガス設備への投入のための破砕設備、分別設備、コンベアー等、並びに発酵後の残渣の脱水設備、脱水残渣やろ液への対策も必要です。また、発酵槽及び発酵液やガスの配管、脱硫装置の確実な密閉が重要であり、特に安全弁を、安全が図れるとともに密閉が確実に保たれる構造にすることが重要になります。 新しい施設は、「多少臭いけどこういう施設では仕方がない」ということにならないようによろしくお願いします。				●				●																		
					意見その2 第3次選定　評価項目・配点表（案）の3）土地利用③地域住民の居住状況の「住宅が密集している地区が接近していないか」の評価には疑問があります。この評価項目及び評価点を見て、1970年代に杉並区の住民がごみ処理施設建設反対運動をした結果、江東区長が杉並区のごみの受入れを拒否した事件を思い出しました。これらの事件を契機に、ごみ処理施設は駅前に造るという考え方になったと記憶しています。老婆心ながら、この評価は、「環境対策に自信がないから、少数の人を犠牲にしようという考えなのか」との疑念も生じるのではないでしょうか。																●									
4	FAX	玉川学園	8/9	6	ごみ問題の解決のため、生ごみを減らすことは積年の課題でした。本来は、各家庭、各建物で処理される事がもっとも理想とされるものです。しかし、このたびのメタンガス化計画策定は、さまざまにご講論を重ねられ、専門的な知識・技術を十分ふまえられた結果のお考えなのだと信じたいと思います。ご苦労様です。けれど疑問はいくつもありますので、それを意見の形で申し上げます。				●																●				
					①生ごみ回収の方法 可燃物から生ごみを取り出すのではなく、「なまごみ」は「なまごみ」として回収すべき。 ◎たとえ不純物がたくさん混じっているとしても、そのほうが効率ははるかに良い。 ◎市民の分別意識を高めることにつながる。 ◎はじめのうちは、可燃物と一緒くたに出されてしまうかも知れないが、広報を徹底するなどによって、ビン、カン、金属等の場合と同様、市民も慣れて行く。																				●				
					②残渣について 堆肥化しても、その行き場がないから、燃やしてもしかたないということならば、100%資源化を、うたってはいけません。従来の焼却法とどこが違うのか、メリット、デメリットを、もっとわかりやすく広報で発表してください。 繰り返しになりますが、引き取り手のない残渣を燃やすというのであれば、メタンガス化施設に莫大な費用を投じる意味を理解できない市民は多いと思います。 ◎残渣をどうするかのアイデアを、専門家の方には勿論、広く日本中に公募し続けてください。				●															●				
					③事故処理 ◎メタンガス採取の構造、仕組みがしっかりしていても、事故は想定しなければなりません。発酵槽の臭気が予想外にひどかったというような場合も、これは「事故」です。 ◎事故責任の所在（人名）を明確にしておき、きまざまな対策をあらかじめ明文化して公開すべきです。				●					●															
					④電気について ◎想定される取得電力の量がどこにも書いてないので、予定を発表してください。 ◎電気の使用先のひとつに、公共バスをぜひ挙げたい。地元還元だけでは、市民に実感がわかないと思います。 ◎売電費用が高いからメタンガス化するという記述がありますが、その代金は、施設維持費をまかなえるほどのものかなど、併せて計画（予想）の詳細を発表してください。						●																		
					⑤地元最優先 候補地の方々の反対が多い場合は、絶対に押し切らないで下さい。 「撤退」も選択肢の一つにいれてほしいと、切に願っています。																				●				

意見番号	提出方法	お住まいの地域	受付月日	意見等数	ご意見の主要な内容 （〇は判読不能文字又は特定個人名・特定企業名のため伏せたもの）	1．整備基本計画について											2．建設候補地について							3．委員会や意見交換会の進め方について	4．広報や住民との合意形成について	5．その他・町田市の施策について				意見以外の項目
						（1）現有施設	（2）施設計画	（3）熱回収施設	（4）バイオガス化施設	（5）資源ごみ処理施設	（6）エネルギーの利用	（7）施設の副次的機能	（8）自主規制値・運転管理目標値	（9）建設コスト・維持管理コスト	（10）周辺への影響・安全管理	（11）その他	（1）自然環境の保全	（2）市境からの距離、近隣市との関係	（3）分散化	（4）周辺地域への配慮・メリット	（5）交通状況について	（6）評価方法・項目・配点について	（7）その他			（1）生ごみの分別・堆肥化	（2）ごみ減量化	（3）基本計画の理念について	（4）その他	
5	メール	横浜市青葉区あかね台	8/10	3	三輪エリアでの建設に対して意見を申し上げます。 このエリアは横浜市ふるさと村からつながる自然豊かな森と田畑が里山の環境を残しています。 特に、無農薬での稲作、畑作が多くのボランティアなどの協力をえて維持されています。近隣の小学校、中学校、フリースクールなどの授業の一環として子供たちが稲作を行っています。 また、オオムラサキ(蝶）や絶滅危惧種の草花などが多く生息しています。また、いくつかのNPOや団体が森の保全活動を行って、自然環境の維持に努力しています。 このような都会に奇跡的に残った貴重な自然環境に大きな施設を造り環境や景観を壊すことは町田市はもとより横浜、川崎や都内遠方からのこのエリアへやってくる人達にとって大きな衝撃です。											●						●							
					周辺には学校や病院なども多く候補地からはずされる様に要望します。															●									
					小田急線を跨ぐ道路の慢性的渋滞をこれ以上悪化させる事もそのひとつの要素です。																●								
6	メール	金井	8/10	1	当方、〇〇といいます。〇〇自動車の先行研究を担っており商用車の将来エネルギーの可能性について研究しております。 エネルギーの有効活用に関して、バイオガス化からDME（ジメチルエーテル）合成という手法もあります。 DMEはLPG同様の液化ガスで20℃で5気圧程度でCNGに比べて扱いやすいものであります。また、このDMEは軽油を用いるようなディーゼルエンジンに適用でき、既存のCNGエンジン（オットーサイクルエンジン）に比べて熱効率が高く、DME自動車としての実証試験も国交省の次世代低公害車プロジェクトで行なってきております。DMEはすすの発生が無く、DPF（ディーゼルパティキュレートフィルター）やNOx触媒（尿素SCRなど）が不要で将来排ガス規制に関しても後処理装置のランニングコストの大幅な低減が可能であります。また、CO2の発生もその組成から軽油に比べて約10%少なく、環境性能に優れた燃料となります。<br　環境先進国のスウェーデン（ボルボ他）では製紙工場の廃液である黒液からDMEを合成し、自動車への活用もEUプロジェクト含め実施されております。 その他、中国ではLPGに20%DMEを混ぜて民生利用、韓国でも同様な利用、将来的には自動車への適用も検討されております。<br　インフラもLPG同様の施設あるいはLPGからの転用も可能であり、CNGに比べて安価な施設が可能となります。その他、エネルギー備蓄という観点からも、液化ガスの貯蔵が比較的容易であり、有事の際には有効な手立てとなります。<br　町田市忠生には高圧ガス保安協会の総合研究所もあり、高圧ガスに関しては国内にて先端研究の拠点となりますし、また町田市民として、将来エネルギーの有効利用という観点から、一提案させて頂きます。ご参考となれば幸いです。						●																					
7	メール		8/10	1	「③建設候補地選定について」 いかなる評価項目、配点方法を採用しようとも、人々のより良い環境のための施設であるのならば、今ある貴重な環境（緑地、農地、森林等）を壊して建設することほど愚かなことはないと思います。そもそもこのような施設建設を市民は望んでいるのでしょうか？三輪緑地への開発には断固反対します。											●						●							
8	メール	小山町	8/10	2	建設候補地の三次選定の評価項目・配点案についての意見を送付します。 ◆点数について どういう基準、根拠で1点の価値を算出しているかが分からない。どの項目の１点も同じ価値だとは言えないと思う。点数という数字にする意味はないと思う。あらかじめ、候補地の情報を入力して逆算し、狙いを定めている候補地の点数が良くなるような配点にしたと疑われても反論できないのではないか。各項目で◎〇△×程度の評価で、あとは総合評価とする程度が適当ではないか。																●							
					◆評価項目　類似施設の状況　について 今ある町田リサイクル文化センター、清掃第二事業所は、類似施設に含まれるのか、建て直すのであるから類似施設には含まれないとするのか、どちらかが分からない。																●							
9	FAX		8/10	1	町田がゴミ0の町になるように、かげながら応援しています。 さて、町田で集めた生ゴミでメタンガスを、というような噂を耳にしました。 私はEMの会社の回し者でもなんでもないのですが、EMの記事に生ゴミ利用としてのメタンは非効率というのを見たので。 もし、町田市が　生ゴミメタン化を考えているのならば、このことも知っておいてほしいと思います。 私は素人なので、何が正しいかはわからないのですが、色々な研究結果を見て、判断したいと思っています。 1000年先を考えて、家庭から出る生ゴミは全て土にする、というのが基本かなと思います。 ご検討よろしくお願いいたします。 腐敗による資源循環は非効率 ―― 生ごみの利用として考えられている、メタン発酵についてはどう考えられていますか？ これは最悪です。メタンというのは、汚泥をはじめ、汚いものや腐敗物を集めて発生させます。そうすると、いつも汚い物を集める場所が必要です。そこに汚いものを運んでくる車もみんな汚いということになります。 メタン発酵の施設も、すぐにボロボロになり、耐用年数も酷いものです。だからそれよりも、汚泥や生ごみや家畜の糞尿にEMを最初から使って最高の肥料にした方が賢明です。これでトウモロコシを作ると、今の2倍～3倍採れるようになります。2倍～3倍トウモロコシを採って、これでアルコールを作ったり、紙を作ったり、全然レベルの違う循環をさせればいいのです。わざわざ腐らせて、汚い、効率の悪いものにするから、機械も償却年数が短くなってしまいます。全然話になりません。滅ぶ状況の一部を使ってやるから、必ず滅びるんですよ。だけど、トウモロコシを大量に採ったら、油ができるからプラスチックもできるし、そこに出来た有機物を全部家畜のエサにもできるし、紙にもできる。メタン発酵の場合、メタンガスをとった後のカスは肥料と言っても、それはやはりカスなんです。（〇〇より抜粋）				●																		●				

						1．整備基本計画について											2．建設候補地について							3．委員会や意見交換会の進め方について	4．広報や住民との合意形成について	5．その他・町田市の施策について				
意見番号	提出方法	お住まいの地域	受付月日	意見等数	ご意見の主要な内容 （〇は判読不能文字又は特定個人名・特定企業名のため伏せたもの）	（1）現有施設	（2）施設計画	（3）熱回収施設	（4）バイオガス化施設	（5）資源ごみ処理施設	（6）エネルギーの利用	（7）施設の副次的機能	（8）自主規制値・運転管理目標値	（9）建設コスト・維持管理コスト	（10）周辺への影響・安全管理	（11）その他	（1）自然環境の保全	（2）市境からの距離、近隣市との関係	（3）分散化	（4）周辺地域への配慮・メリット	（5）交通状況について	（6）評価方法・項目・配点について	（7）その他			（1）生ごみの分別・堆肥化	（2）ごみ減量化	（3）基本計画の理念について	（4）その他	意見以外の項目
10	メール	上小山田町	8/22	4	人の気持ちが伝わる行政を願う！下小山田のゴミ焼き場の原点 私は、上小山田町在住の〇〇〇〇と申します。〇〇〇のはずれで下小山田町内会に属していて、現在下小山田町内会〇〇地区理事をやっています。下小山田町内会理事会では、副会長以下役員全員が今回の計画には反対です。私の知る限りでは近隣住民は皆反対しています。私は今まで数回リサイクル文化センターの説明会に参加しました。内容的にはまだまだ完全には理解しておりませんが、リサイクルセンターが完成してから40数年の歴史を踏まえて色々な感想が有ります。	●																				●						
					1）7月27日の説明会のプリントに候補地の用途地域が、工業地区、準工業地区でない為、建設出来ないと書いてありました。しかし先輩の話ですと現在のリサイクルセンターも元は建設出来ない用途地域だったにも係らず市側で急遽、用途地域を変更して建設工事を進めたと聞いております。 2）当初、生ごみをそのまブルドーザで押し固め敷均しの連続でした。その結果、ネズミ・ハエの大発生、自然発火による火災の発生、カラスによるゴミの飛散、夏の悪臭、堆積したゴミの廃液が田の用水路経て鶴見川に流出し自然及び生活環境が悪化しました。 3）ゴミの廃液が流れた用水路沿いの稲は早く枯れ、田で農作業をしていた人の足に発疹が出ました。そこで、竹桜地区の人達が立ち上り、生ごみ埋め立て反対を叫び、数日間ゴミ搬入阻止の座り込み等の実力行使の末、やっと市側からのゴミ焼き場の建設をするとの回答を得ました。しかし、その後も重油流出事故、土質検査ではカドミウム等の重金属が発見されたと問題化され環境は悪化の一途でした。米を作る事が出来ない為、田は古代ハス栽培に利用、その他の田は埋め立て工事を行い畑にしました。最終的には造成工事で宅地にして、現在の宮の前地区となりました。ゴミを埋め立てられた谷は現在も当時のゴミが目視出来ますが、いまだ改善されていません。 まだまだ言い尽くせない程、色々な事が有りましたが、下小山田地域の特に竹桜地区の住民は、長期間どれだけの犠牲を受け苦しんできたかご理解ください。当時の事は、やがて記憶のかなたに消えてしまいます。改善するという事は、全ての昔のゴミを除去し綺麗な土を入れ替える以外方法は無いと思ます。負の遺産は、後世ずっと引きずる事になり、将来我々の子孫に悪影響が出ないとは言いきれないのです。この事実は決して忘れてはならない事です。風化させてはいけません。	●									●																	
					ゴミ行政のビジョン・方向性について リサイクル文化センターには色々なゴミ処理施設が造られ続けてきました。地域の（下小山田町、上小山田町、忠生）各地区の実情を考えた事が有るでしょうか。一極集中による車の渋滞、朝と昼は特に凄いのです。 行政側のゴミ処理施設分散化に向けても取り組んでいるとは思いますが、まず地域の理解を得る事が第一と考えます。 数年前、小山地区にプラスチック中間処理施設が計画された時、地域周辺及び八王子市側も巻き込んだ大きな反対運動はまだ記憶に新しいと思います。分散化を目論むならまず各地域の理解を得る事が第一と考えます。 各地域にゴミ処理の現状と各地域に収集基地、処理施設等の必要性を説き訴え、各地域で造るにはどうしたら良いか考えてもらいます。 多分、現在の小山田の処理施設から遠い境、鶴川、町田、南地域の住民と小山田地域の住民のゴミに対する認識の温度差は歴然と違うか思います。ゴミは市役所に任せておけば良いとか、無関心の人も多くいるかと思います。この温度差を少なくする為に10～20年位、各地域に時間をかけてゴミ処理施設について考えもらうべきだと思います。 長期的なゴミ行政のビジョンと方向性を唱え、地域の賛同を得る為に各地域に下駄を預けたらどうでしょうか。 賛同する地域が有れば、やがて全市内の協力が得られると思います。 今回の建て替えの件を3年～5年かけて計画する事は、短期すぎて無理が有ります。 各地域で造らない為の理由の列挙に終始するだけではないでしょうか。	●																				●						
					現在の焼却炉の寿命は、以前より解かっていた筈です。小山田の住民は分散化すれば協力すると思いますが、他の候補地が駄目だったから造りたいと言っても協力しないと思います。現在有るのだから又造っても良いのではないか？の理屈は通りません。 他の境、鶴川、町田、南地域で出来る範囲の最大限の物を作る為にも、自分達のゴミは最後まで自分たちの責任で、地域で処理をする覚悟と自覚が出来る様10～20年位の歳月をかけ地域で検討して貰うのが分散化の第一歩だと思います。「人の気持ちの伝わる行政」を一途に願います。 なお、この意見に関して、1ヶ月位のうちに御返事を頂ける様お願い致します。														●												
					合計	3	1	0	5	0	2	0	0	1	2	0	2	0	1	1	1	4	2	1	4	4	2	0	0	0

市民から寄せられた意見(意見交換会での発言)

	発言者	意見等数	ご意見の主要な内容 （○は判読不能文字又は特定個人名・特定企業名のため伏せたもの）	1．整備基本計画について											2．建設候補地について							3．委員会や意見交換会の進め方について	4．広報や住民との合意形成について	5．その他・町田市の施策について				意見以外の項目
				（1）現有施設	（2）施設計画	（3）熱回収施設	（4）バイオガス化施設	（5）資源ごみ処理施設	（6）エネルギーの利用	（7）施設の副次的機能	（8）自主規制値・運転管理目標値	（9）建設コスト・維持管理コスト	（10）周辺への影響・安全管理	（11）その他	（1）自然環境の保全	（2）市境からの距離、近隣市との関係	（3）分散化	（4）周辺地域への配慮・メリット	（5）交通状況について	（6）評価方法・項目・配点について	（7）その他			（1）生ごみの分別・堆肥化	（2）ごみ減量化	（3）基本計画の理念について	（4）その他	
7／26 町田市役所本庁舎	市民A	1	施設の建設にかかる費用が高くなるということのアピール資料なのか。熱回収施設、資源ごみ処理施設で費用に差があることはわかるが、本当にこの程度の差なのか。メーカーに対してアンケートをしているが、各社で価格は異なるが、基準が不明確ではないか。シビアなコスト試算をしているようだが、中身が伴っていないのではないか。									●																
	市民B	1	近隣住民への影響はわかっていたが、最終的に誰が責任を負うのか。今の説明では理解できない。誰が安全を保証し、どのような形で文書として残すのか分からなかった。										●														
	市民C	1	バイオガス化することによって、投入したごみが例えば半減するとか、減ればいいんですけども、水を入れるから結局増えるんじゃないかと思うんですよね。そうすると、ごみはどうするかといったら、結局燃やして処分する他に手はないんじゃないかと。そうしたらそんな変な臭いが出るし、危険がある設備を造るよりは、最初から燃やす設備を造って、効率のよい発電機を回した方が得策じゃないかというふうに思い意見をしただけです。				●																				
	市民D	2	先ほどの北部整備丘陵整備事業用地（A）と町田リサイクル文化センターと、2つ丸があるんですが、これ自体がよく分からないんですけど。要するに、北部整備丘陵整備事業用地（A）とリサイクル文化センターの丸、これがバイオガス化施設の候補地、市有地ですね。それから他に幾つかで丸にしてあるのは民有地らしいんですけど、こういういろんな評価基準か、点数までつくってやられている以上、もう既にできているんじゃないでしょうか。																	●								
			さっきから京都の視察の結果、臭いが出るというのは前からそういうことは聞いていたんですけど、例えば町田リサイクル文化センターがいいと言いましたけれども、そういう点はどう評価しているんですか。										●														
	市民E	1	交通面ということで、この1から6までの評価項目が大体バランスよくある程度点数配分されていると思うんですけれど、結局ごみの収集の場合では、熱回収施設のバイオガス化は基本的に持ち込みだけが多いと思うんですけれど、資源回収だと結局一回そこで集めるために持ち込むのと、今度そこで再資源化するのでなくて業者に出しますよね。そうすると出る方の交通量も増えるわけですよね。 そうするとこの選定地のほうで、やっぱり住宅密集地とか、そういうものは外している関係で、かなり市の外周の方に行くと片道2車線道路から500メートル以内というのを第二次選考か何かのときに考えられているかと思います。特に資源回収のほうの施設に関しては、搬入して集める方と搬出して出す方の交通量が具体的に増えてくると、やっぱりかえって人が少なくて密集していない所だと、それが増えることによって逆に居住状況、空気環境とか、「環境」のでいうと「周辺道路の整備状況」以外のところでも、運送効率以外のところで思ったよりも結構影響が出てくるのでは。 新しく道を造らないでやる方向でお進めになっているみたいなんですけど、そこのところを少し柔軟に考えたほうがいいかなということと、資源回収は入札とかで業者を落とすと思うので、固定した業者がずっと町田市の再資源化のごみを請け負うとは思わないんですけれど、やっぱりそういう業者はある程度限られてくるかと思うので、そういうところへの搬出アクセスなんかも考えて選定をされたらいいかなということです。					●										●										
	市民F	2	配点の細かい部分が資料に表示されていません。この表だけが市民広報にも載っていますし、そういった部分で、どういう形で評価点をするのかというのが非常に明確でなかったかなと思われます。そういったところをきちっと表示しておいていただいたほうがよろしいんじゃないですか。点数の付け方についても中間点はあるよと、聞いたから言われたことであって、これを見た方はどういう点数の付け方をするのかというのは不明ですよね。そういったところがちょっと不親切かなということで、質問させていただきました。																●			●					
			先ほど話をさせていただいた中で、総合評価というかたちで候補地を決定するといった場合に、評価項目の優先順位を決める判断基準というような資料は持っているんでしょうか。																●								
			小計	0	0	0	1	1	0	0	0	1	2	0	0	0	0	0	1	3	0	0	1	0	0	0	0	0
7／27 町田リサイクル文化センター	市民A	7	今の話の関連になりますが、焼却炉の脇に50トン規模のメタン発酵施設がある所はありますか。メタンは発火性のものですので、お聞きいたします。				●																					
			今の議論と関連しておりますけれども、私は審議会の答申を受けて今の委員会があると思うんですね。審議会では「作らない、燃やさない、埋め立てない」という、こういう三つのビジョンを出したわけです。 生ごみでメタンの方に行くのは大体数パーセントだと思いますが、7割近くが水になり、恐らく鶴見川に捨てると。だからこれは捨てるのです。基準、基準ということを言うのですが、鶴見川の汚染につながる。それから残渣というようものも全部燃やしてしまうわけですね。 これを「燃やさない、作らない、埋めたてない」という審議会の理念と合致していると考える審議会の委員がいたら、私はそのことを聞きたい。この中に審議会の委員が、私も含めて少なくとも5人おります。一人一人に聞きたい。今やっていることは本当に「作らない、燃やさない、埋め立てない」という理念になっているかどうかということを聞きたいです。 それから、メタンの効率が30%って、これは絶対あり得ないです。そんなことはありません。もっと少ないです。これは、どの資源に対してどれだけエネルギーに行ったかという考え方をしなければいけないのに、それを出されてないから。 だからエネルギー化、エネルギー化ということで、今盛んにそれが前面に出てきますが、こんなものはもとの資源に比べたら微々たるものです。もとの資源というのはほとんど燃やされて、多少のエネルギーに行って、ほとんど捨てられているのです。捨てるというのが温室効果ガスだとか、バイオガスも含まれるでしょう。 それが第1点です。審議会との齟齬ですね。こちらについては、審議会の委員の学識経験者の私ともう一人の方とで、委員会で齟齬がないように、「審議会の議論との齟齬」ということで書類を出させていただきました。その検討の結果をぜひとも出していただきたいと思います。				●																			●		
			それから、ここの土地に造るということは、この土地の住民がリスクを背負うということです。リスクがゼロだということを言っていますが、リスクがゼロなんていうことありません。原子炉だって何だって、リスクはゼロだと言っていたのがあのようになったのですから。ですから廃棄物、川、それから運搬車の排ガス等々も全てこの地域のリスクでございます。										●														
			私たちは前にも、やはりこの施設は3カ所ぐらいに分けるべきだということを申し上げておりますが、それがいつの間にか1カ所になって、しかもそれがどうもここになってしまうというような状況にありますので、それでは一極集中が解消されないと私は思います。													●										
			それから3番目は、ここということが恐らく今年いっぱいぐらいで決まるようですけれども、そのときに地域住民との話し合いをされるということですね。地域住民との話し合いということは、地域住民の意見を聞いて、その意見が非常に強いものであれば、ここに造るということを別に変える可能性があるのかどうかということをお聞きしたい。それがもしないのであれば、そんな会議なんてやってもしょうがない、初めから決まっているわけですから、と私は思います。以上です。																			●					
			資源回収とは何ですか。エネルギーですか。エネルギー効率は、先ほど17、30と言われていたけど、それは何に対してですか。元々の50トンの生ごみの何割がエネルギーに行ったかという、そのような計算しなければいけませんよ。 結局燃やすのでしょう。燃やすということは燃焼させるということです。燃焼させるということは結局ガスにするのですよ。そのエネルギーをそこから引き出す効率というのはものすごく小さいです。0.0000という、そのような数字です。これは改めて後からきちんと説明していいんですけど、ここでは申し上げません。 最後に燃やすのですから。ですからそこのところをはき違えては困ると。だからエネルギーに行ったほとんどの残りはガスになって空気中に放出されるわけですよ。それは物質収支、マテリアルバランスと言っていますけれど、そこをしっかり見据えてもらわないと困ります。				●																					
			私はその審議会のときにも提案したのですが、まず市民が今やっている電気式生ごみ処理、あるいは自家処理ということを優先すべきであると。それができるかできないかというのはこれからの問題です。それからアンケートも、あのときのアンケートを取って10年後の指針にしようというのは、私もとんでもない話だと思います。その代わり私たちが努力をして。																				●				

	発言者	意見等数	ご意見の主要な内容 （○は判読不能文字又は特定個人名・特定企業名のため伏せたもの）	1．整備基本計画について											2．建設候補地について							3．委員会や意見交換会の進め方について	4．広報や住民との合意形成について	5．その他・町田市の施策について				意見以外の項目
				（1）現有施設	（2）施設計画	（3）熱回収施設	（4）バイオガス化施設	（5）資源ごみ処理施設	（6）エネルギーの利用	（7）施設の副次的機能	（8）自主規制値・運転管理目標値	（9）建設コスト・維持管理コスト	（10）周辺への影響・安全管理	（11）その他	（1）自然環境の保全	（2）市境からの距離、近隣市との関係	（3）分散化	（4）周辺地域への配慮・メリット	（5）交通状況について	（6）評価方法・項目・配点について	（7）その他			（1）生ごみの分別・堆肥化	（2）ごみ減量化	（3）基本計画の理念について	（4）その他	
7／27　町田リサイクル文化センター	市民B	2	一点質問をいたします。「廃プラ施設とバイオガス化施設は一体化しないほうが望ましい」とおっしゃいましたが、望ましいということは、結局色々検討したけれども結果的には一体化になってしまったという可能性がある、と考えてよいのでしょうかという質問です。		●	●		●																			
			それと、一般的には新しい施設を建設、導入するときは同規模の施設の実績を検討、検証し、その設備が安全で全く問題がないという証明がされてから建設、導入するという道筋が社会的にも一般的だと思います。 これまでのお話を伺いますと、公共の50トン規模のバイオガス化施設の前例はない、または建設中というお話でした。ということは、町田市がその先駆け、パイオニアということになるだろうと私は受け取りました。 ということは、造ってみなければ分からないことがたくさんある、結果的には今回のことは大いなる実験であるというように受け取りました。結果的にその施設の近隣に住む住民にとっては、言葉は悪いかもしれませんが、その新しい企画・取り組みの実証実験の材料になってしまうのだろうと私は感じました。				●																					
	市民C	2	今日の説明を聞いてがっかりしました。もっと客観的に選定場所を決めていると思っていたのですが、第一次選定、第二次選定の条件は土地の広さがないだとか、それから傾斜地であるだとか、環境保全地域に近いとか、土地が取得できないとか。そのようなことは事務作業でできるでしょう。 最初からもっと絞れると思います。話を聞いていて、やっぱりここの小山田が残ったな、というように思います。 土地の広さがないとか、傾斜地で建てられないという所は最初から候補地にならないでしょう。それをずっと最初から候補地として載せてあったんです。それで客観的に決めたみたいな形をとってやはりこの場所が残ってきたな、という感想を持っています。																	●								
			先ほど出ていましたが、バイオガスのタンクと燃料の施設の場所が一緒ですよね。一体化して考えていますよね。それにしては評価項目の2番目、「地盤状況等」の配点がたった5点なんですよ。これは直下型地震とか立川断層とか、それから今まで想定外ということが、今いっぱい言われているでしょう。この地盤状況をたった5点にするという評価項目がとても疑問です。以上です。																●								
	市民D	1	施設規模が分からない施設を導入するという。そんなことはあり得ない。予算を組むときに、施設規模が分からないとか、何が分からないとか、並行して検討していますなどという、それは全然おかしいよ。 設備50トンというのは最初にあったんでしょう。そうしたらそれにはどの程度のスペースが必要かというのは、当然メーカー側から提示があるでしょう。 どれだけのスペースが必要かというのをきちんと検討しないで50トンというのを最初に決めたというのはおかしいでしょう。 50トンでなければ、他の候補地でもできるでしょう。さっきの方がおっしゃった傾斜地だとか平面でできるような形という条件が出てくるのは50トンだからでしょう。				●																					
	市民E	2	先ほどからバイオガスがやり玉に挙がっているようでございますが、生ごみというのはそのままでは燃えませんよね。水分が80%ぐらいありますから燃えません。今は焼却炉で焼却していますが、それは紙とかプラスチックが一緒に入っているから、その熱源を使って燃やしているわけです。 プラスチックは、計画の中では容器リサイクル法に則って資源化しましょうと。紙も、今よりももっと紙として資源化しましょうということをやろうとしているわけです。 そうしますと、その熱源を失ってしまう。つまり燃えなくなる、あるいは燃えにくくなります。そうしますとガスや石油を使わないと生ごみが燃やせないということになります。 じゃあ堆肥にすればいいではないか、というご意見もあるようですが、堆肥というのはいつでも使われるわけではありません。使う時期も限られるわけです。ですからかなり乾燥させないとストックできません。大量にストックしないと駄目なのだ、ということが生じておりますね。そのためにはエネルギーが必要なのです。ですからバイオガスだったらエネルギーを取り出して使うことができますが、堆肥というのは逆にエネルギーを使うということになります。 それでまた、農家はたぶん使わないですよ。使い切れません。剪定枝でも、小野路の剪定枝のセンター（町田市剪定枝資源化センター）がありますね。あちらでも、剪定枝で3000トンの処理能力の施設ですけれども、農家の話では半分も使われていないですよね。農家では半分も使っていません。これでさらに生ごみで堆肥を作っても使い切れるわけがない、というのがどう見ても明らかです。 それから、臭いの問題がありますが、臭いの対策はバイオガスのほうがよっぽどやりやすいと私は思います。なぜならば、堆肥というのは好気性発酵なのです。つまり酸素を必要とします。ですから大量の空気を吹き込まなければならないのですよ。吹き込んだ空気は臭います。これは防臭をしなければいけません。それから構造的にはオープン構造にせざるを得ないですね。ですから臭いの対策は非常に難しいです。 ですがバイオガスというのは嫌気性発酵です。つまり基本的には酸素と触れさせてはいけないのです。つまり密閉しなくてはいけない。ですから、昔から「臭い物にはふたをしろ」と言いますが、密閉構造ですから対策としては非常にやりやすいと思います。もちろん空気に触れる場所は当然ながら出てきます、最後の出口とかは。入り口も臭いはすると思います。そこはしっかりとやって、こちらもしっかり従うということは当然でありますね。以上でございます。				●																●					
			今、燃やすということが議論になっておりますが、結局燃やすというのは、化学的には炭水化物の炭素と水素が酸素と反応するということですね。これは堆肥にしても、微生物の作用で二酸化炭素になるんですよ。要するに微生物が炭素と水素を酸素と反応させるのですよ。 つまり生ごみというのはもともとが空気中の二酸化炭素から植物が光合成によってつくったものですね。いわゆるカーボンニュートラルと、専門的にはそのような話だと思います。つまり空気中の二酸化炭素からできたものを、「燃やす」という言葉を仮に使えば、また燃やし、あるいは微生物で分解させてもまた空気中に戻っていくということで、どちらも一緒ですよ。私はそう思います。				●																					
	市民F	3	今、生ごみのことで言われているのですが、ここにある、3000トンの生ごみを生ごみ処理機により処理をするということですが、あと残りの19000トンをバイオガス化により処理をすると。 これを逆転したらどうなるのですか。今の家庭内での生ごみ処理機というのは町田市全体でどのぐらいの普及率なのか。これが集合住宅、団地、管理組合等々、この中にも理事さんはいるし、それから町内会の人たちもいますが、この生ごみ処理機の普及率をもっと上げればごみは当然減ってくると思います。それで、残りをどうしてもできないというのであればバイオガス化していってもよかろうと思います。ここに挙げた3000トンと19000トンの数字を逆転して考えてみたらどうでしょうか。				●																●					
			分かりました。それではその3000トンという目標を立てられているわけですが、1000トンしかできない。そうすると、あとの残りは全部一極集中化で、この小山田に持ってきて処理するという考えですか。 やはり市民全体で、皆さんで協力してごみを減量するという意味であれば、もう少し家庭の生ごみ処理機を普及させて減らすということも考えられるし、さっきも言いましたように、生ごみ処理機の普及率はどのぐらいですか。市は調査したのですか。																			●					
			やっぱり地元になったら切実な問題なんだから、4時間ぐらいの会議で考えてくださいよ。徹底的にやらないと駄目なんですよ、きちんとやるには。大体今日だって2時間で、そのうち1時間が説明でしょう。質疑応答は1時間しかないんだから。こういうのだったら半日ぐらいとって、みんなに意見を言わせないと。																		●						
	市民G	2	一つはお願いと、一つは質問です。 お願いは、いろんな資料を出されておりますが、やはり資料という物は見やすく、分かりやすく作るべきだと思います。これは参考に申し上げますが、この資料をこのように折ってしまえば、これはどうしようもないんですね。折ったまま見られるような資料を作ってもらいたい。こういう配慮をひとつお願いしたいなと。																				●				
			もう一つは質問ですが、日本で今バイオガスのことでいろんな質問が出ていますが、私なりに理解に苦しんでいます。今はそこのごみ焼却炉で生ごみを実際に燃やしていますよね。そのときに有害ガスが発生しているのかどうか。それからもう一つ、その施設を造ってバイオガスをつくった場合にどの程度の有害ガスが発生するのか、近所で臭いが出るのか。 その辺りを、焼却場とそのような施設を両てんびんにかけて考えないと、単なる想像で話をしてもいけないのではないかと思います。もしそのようなデータがあるならば、そのような施設を造ってこういうガスが発生するよ、今の焼却場でこういうガスが発生しますよ、というようなものを。 今の焼却炉を造るとき、これは昭和45年ごろだと思いますが、やはり住民で建設反対という話が出ました。実際問題として交通、車の出入りの問題もありますが、ガスによって近所が迷惑したという話は一向に消えていませんので。									●																
	市民H	1	それで、たまたま○○先生から、三次が決まったらまた住民を集めるのかという意見がありましたよね。そしてそのときに反対意見があったら町田市は撤回する意思があるかどうか、というのを聞いていましたよね。撤回意思がないのであれば、三次が決まっても集まる必要がないですよね。それはどうですか。																				●				
			小計	0	1	1	8	1	0	0	0	0	2	0	0	0	1	0	0	1	1	1	3	4	0	1	0	0

	発言者	意見等数	ご意見の主要な内容 （○は判読不能文字又は特定個人名・特定企業名のため伏せたもの）	1．整備基本計画について											2．建設候補地について							3．委員会や意見交換会の進め方について	4．広報や住民との合意形成について	5．その他・町田市の施策について				意見以外の項目
				（1）現有施設	（2）施設計画	（3）熱回収施設	（4）バイオガス化施設	（5）資源ごみ処理施設	（6）エネルギーの利用	（7）施設の副次的機能	（8）自主規制値・運転管理目標値	（9）建設コスト・維持管理コスト	（10）周辺への影響・安全管理	（11）その他	（1）自然環境の保全	（2）市境からの距離、近隣市との関係	（3）分散化	（4）周辺地域への配慮・メリット	（5）交通状況について	（6）評価方法・項目・配点について	（7）その他			（1）生ごみの分別・堆肥化	（2）ごみ減量化	（3）基本計画の理念について	（4）その他	
7／28 小山市民センター	市民A	2	プラスチックの再処理化というのは、この基本方針の中でも「ごみの減量、資源化率の推進をします」という方向になっていますから、町田市でもそれを進めるという方向で議論が進んでいるかと思います。 家庭で分別をして、町田市で収集をしてある程度さらに分別をしてリサイクルに出してしまえば、町田市のごみからは消えるんですよ。しかし日本のごみから消えたわけではないんですよね。 それで、現在のプラスチックのリサイクルというのは、私が知る限りでは相当の費用がかかる。再商品化でできる物の価値が非常に低く、あまり利用できないような物が多いですね。その先はごみになる。 私も国の法律改正の議論に加わりましたけれども、果たしてこれが本当の資源化かというのは、色々議論があるかと思うんですよね。少なくとも東京都23区では、プラスチックごみは燃えるごみとして処理するんです。その23区の中で、区の判断でリサイクルをすると承知しております。 従って町田市の今後の検討でも、市民は相当手間を掛けて分別するんです。さらにそれをきれいにするという作業過程がない通りサイクルに回せない。リサイクルに回した後どれだけお金がかかって、どのような商品ができて、どのような利用価値があるかを含めて十分検証をして、やはりリサイクルをすると意味があるなということを、町田市でも十分検討の上で進めていただきたいと、このようなことであります。					●																			
			今、境川の問題が出ましたけど、先日、境川で、事業者が誤って洗剤を流し大量の魚等が死んでいる様子なんです。新聞報道によりますと行政指導をしたということになっているんですが、どんな行政指導をしたのでしょうか。誤ったとしてもそのような事業者の汚染水が流れてしまうという事業所の管理をもっと徹底しないといけないだろうと思いますけど、この点をちょっと教えてください。																							●
	市民B	1	具体的に考えているというわけではないです。発電して、それを地域の人に送電線を使って電気を送るとか、ガスを使わせてもらうとか。自分たちはごみを出すけど電気として使えるとか、そのようにできたら地域にもつながっていいのではないかなと、ただ漠然とした感じで思っております。						●								●								
	市民C	1	施設に関しての質問ではなくて防災関係の質問ですけど、境川は時間当たり30ミリの降水であふれるという情報が出ているらしいです。これから施設を造るときに防災倉庫とか、何か援助物資を入れるスペース、そのようなものを施設の中に組み込んでいただきたいというのがあります。 そこの小山小学校は防災グッズが一式ありますけど、境川があふれるとその防災倉庫が駄目になってしまいます。倉庫を失ったら全部アウトになってしまうので。小山地区、小山ヶ丘地区全体でいくと、2万7000から3万の人口がいるわけです。もし相原とか上小山田地区にするのでしたら、防災倉庫も検討で入れていただきたいなという感じですが、いかがでしょうか。							●																
	市民D	2	Q&Aの資料の中で熱回収施設の現状の規制値と新しく造る施設について、現状の規制値はどうかということが記載されているのかというのが一つと、熱回収施設の他にバイオガス施設の規制値もまず提示したほうがよいのではないでしょうか、という提案でございます。 今ここに新しい施設の自主規制値という数字が出ております。要は現状のものより数値がよりシビアになっているだろうと思いますので、現状のものより数段よくなっているんですよというアピールをしたほうがいいのではないでしょうか。									●														
			それともう一つ、このQ&Aに「運転管理の目標値となる値」という表現がございます。規制値が新規設備の設計値、仕様値だと思いますけれども、どうもこの「運転管理の目標」という語彙そのものが、ちょっと合理性に欠けるのではないかなという意見です。									●														
			小計	0	0	0	0	1	1	1	0	0	2	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
7／28 堺市民センター	市民A	3	費用対効果は最初の説明で30億円、投資は120億円から150億円、それに見合うものなのかなということを思ったので、意見じゃなくて感想として書かせていただいたところです。									●																
			「どこに建てる？」と書いてあるシートで、第三次選定の評価項目がありますよね。熱回収施設と資源ごみ処理施設のウエート付けにおいて、評価項目の1番と2番が両方とも同等だなと思っていたのが、熱回収施設を見ると差が出ていますよね。熱回収施設について機能／維持管理のところが28ポイントで、環境が26ポイント。資源ごみのほうが同じく24ポイント、ここの差というのはご検討の経過のプロセスの中で、何か理由があるんですか。																●								
			両方とも環境を重視しているのは見れば……。私の質問等は気がついたことだけで、思いつきかも分からないですけども、評価項目はオーケーです。熱回収についてポイントが同じで28、28だったら分かるんです。26、26だって分かりますけど、ここの2ポイントの差は、単なる平均でいいのかなという感じがしておりました。																●								
	市民B	1	「どんな施設を造るの？」というところで、計画の中で「3000トンは家庭用生ごみ処理機で自家処理」とあるんですけれども、これは計画というところで、まだこれが今後実施されるかどうかというのはまだ未知数だと思うんです。実際まだ建設まで8年、あちこち今はまだ候補地依頼をされている中で、この3000トンの生ごみの処理がどうもついていけないといった場合に、今の216トンの処理能力を増やすという、計画の変更ってあり得るんですか。			●																		●			
	市民C	3	評価項目5「余熱等の利用に対して」なんですが、この配点を見ていくと、公共交通機関とかに使うほうが配点が相当高くようになっています。これは一般的な家庭で使うことを考えていないのかということなんですけど。																●								
			資源ごみで行きますと、分散化ということで、候補地が何カ所かあるようですけれども、例えば相原と、三輪エリアとなったときに、こういうのを分散化というんでしょうかね。よく分からないんですけれども、何か離れている気がするんですけど、距離的に。だから、端と端に造ってこれを分散化と呼べるのかなと、すごい疑問になっちゃったんです。														●										
			配布されている資料の「ごみ資源化施設と候補地についての質問と答え」のQ12の回答で、「小山田には旧ごみの埋め立て地がありますが」とあるんですけど、小山田には埋め立て地もあるんですか。	●																							
	市民D	1	結局さっき僕が言ったんだけど、個人情報ということで、我々に知らされるときはすごく遅くなるんですよ。それで、我々が知ったときは、もう既にほとんど既成事実になっている。今までずっとそうだったからね。恐らくまた今度もそうなるだろうなと、皆さんのお話を聞いて思いました。以上です。																		●							
	市民E	2	今のご意見にかぶってしまうかもしれないんですけれども、今回私が参加させていただいたのも町田市の広報等を見て参加させていただいたんですが、大多数の人は知らない。こういう取り組みをされているのとかご存じない状況にあるんじゃないかなと思います。こういった情報に気づいて参加されている方はいいんですが、知らないという方がほとんどだと思うので、三次選定で地区が絞られた際には、コストがかかっちゃうかもしれないんですけども、もうちょっと積極的に通知するということを考えていただいた方がいいのかなと思います。																				●					
			ちょっと極端なんですけど、例えば税金の通知は必ず通知されてきて、チラシになるような形になっているので、各家庭にダイレクトに届いていつまでにお支払いくださいとそういう形の通知もある。ちょっとそこまでやるのはコストも掛かっているんだと思うんですけれども、ちょっと地域が絞り込まれた際には、そのぐらいやってもいいんじゃないかなと。																				●					
			小計	1	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	3	1	0	2	1	0	0	0	0

	発言者	意見等数	ご意見の主要な内容 （○は判読不能文字又は特定個人名・特定企業名のため伏せたもの）	1．整備基本計画について											2．建設候補地について							3．委員会や意見交換会の進め方について	4．広報や住民との合意形成について	5．その他・町田市の施策について				意見以外の項目
				（1）現有施設	（2）施設計画	（3）熱回収施設	（4）バイオガス化施設	（5）資源ごみ処理施設	（6）エネルギーの利用	（7）施設の副次的機能	（8）自主規制値・運転管理目標値	（9）建設コスト・維持管理コスト	（10）周辺への影響・安全管理	（11）その他	（1）自然環境の保全	（2）市境からの距離、近隣市との関係	（3）分散化	（4）周辺地域への配慮・メリット	（5）交通状況について	（6）評価方法・項目・配点について	（7）その他			（1）生ごみの分別・堆肥化	（2）ごみ減量化	（3）基本計画の理念について	（4）その他	
7／30 南市民センター	市民A	1	安全な施設だから、安全だからっていうそういう意味では、ちょっと今の社会や今までの私たちの最近の事情から考えて、「安全な施設だと思うので」という前提を持っているということ自体が、よろしくないのかなと思います。やはり、プラスチック系のものを扱っているし、それからガスがあるし、それから臭いが出たときのいろんなことも考えてしまいます。万が一ということも考え、事故は起こるだろうというのは悪いんですけど、やっぱり10年20年の間に起こるだろうと想定したときに、万が一のときもこういう万全な体制ですという、それに対するいろんな評価項目があっていいんじゃないですか。 やはり今市民が一番考えているそこのところをしっかり真正面から捉えて、明快な評価項目なりを入れるということが、市民に納得してもらえ、受け入れるということになるんじゃないかなと思います。										●						●								
	市民B	4	私も審議会の委員だったので、3000tと1万9000tはよく知っているんです。50tという規模の施設は、日本でも数が少ないんじゃないですか。従って、大きな規模の施設を建設すると、市民が自己発生抑制という努力を怠ってしまって、市のほうに依存してしまうという可能性があるので、1万9000tを全部焼却する装置を造るよりかは、もっとこの審議会で発生抑制を相当打ち出していこうという方針で、具体的に市のほうでやってもいけません。そのため、大きな規模を造ることより、もっと規模の小さなものを造り、発生抑制に関与しないと、市民の依存性が高まり全く市民はやろうとしないと思います。				●																	●			
			ほとんど一極集中の概念で今来ていますので、小山田近辺の方はなぜ一極集中かそういった問題もございますので、もしこのままでいくとたぶんにその傾向が強いですね。従って、なぜここに来るかというためには、それなりの説得が必要です。そのため、地震に対して一番大きな問題、防災の問題でその地域に貢献するのと、これが一番説得する理由があると思う。また、関心の薄さをなくすためには、非常に今ハイグレードな防災施設でもって供給して貢献するんだということによって、メリット、デメリットをはっきりさせる。ですから、教育設備がいいと思うが、防災という点を使うべきであれば、恐らくそれだなという概念になるかと思う。決してそれは全てメリットになる保証はありません。そのため、なにがしかこれを造ってほしいためには貢献するという問題では納得しないと思う。							●																	
			高齢者福祉対策、これを言い忘れました。高齢者の問題が大きなハイライトでした。高齢者に対することを考えて供給するということは大きな問題だと思います。						●																	
			ページのQ11番のことなんですが、誰からも質問がないので、私もうっかり質問し忘れたんですが、建設費はさっき30億円とおっしゃいましたね。建設費は主に国からの交付金や地債と一般財源とありますが、このたび造られました市庁舎建設のとき、約58億円の積立金があったんですね。しかし、この問題について、焼却炉を造るために長年の積立金ってどのぐらいあるのか。それから、国の地債と一般財源はどういう比率なのか。一般財源をもらうために、いつ議会から承認を求めるのか。これらの問題については、市民の関心があります。そのため、いつの議会でもって申請し12月から3月に国が定めた交付金の申請期限までにやるのか、日程を教えてほしい。								●																
	市民C	1	初めて聞いたものですから、かなりちんぷんかんぷんなんですけれども、今のことに関連して言いますと、がれきの処理をするときのお話の中に、例えば広域処理をすることを考えるべきなのか、東京都で考えるべきなのかという意見もあったと思うんです。そうなったときに、近隣の市との協働的な運営とかそういうことがあるのかどうか。あるいは、どっかから協力を要請されるとかいう場合にどうするとか、そういうことは頭にあるのかどうか、お聞きしたいと思います。		●																						
	市民D	1	市は全ての地域と協働し協議することを打ち出されています。協働は私も大賛成なんですけれども、例えば福祉関係をやろうとしても、福祉関係の活動をする拠点がないんですね。新しい施設や何やら、例えば市庁だとか、そういうときにはそういう拠点をつくっていくと。だから、施設でそういうところも少しお金を掛けていただいて、そういう活動の拠点になるように。例えば、みんなが集える場所とかそういう場所について検討してほしい。これから高齢化していきますし、福祉の重要度は増すばかりですから、そういうところを併設して設計をしていただければと思います。								●																
	市民E	1	現在のごみ収集方法から、期間は2012年から2020年までの間で、かなりの年月はありますから、その間にいろいろ収集方法を検討されるだろうが、現在の分別項目がさらに増える場合の具体的な方策を検討されていますでしょうか。例えばプラスチックごみについて、さらに分別を徹底するとか、現在は、ほとんど燃えるごみの中に突っ込まれているんじゃないかと思うんですけども、新館の施設を造るにあたっては、ごみの分別項目をさらに細分化されるようなことになるのかどうか、現在のお考えを聞かせていただきたいのですが。																					●			
			小計	0	1	0	1	0	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2	0	0	0
7／31 成瀬市民センター	市民A	1	これを見ると、真ん中の山崎エリア以外は他の市との境目に候補地があるような感じがします。そうすると、市内から出るごみは、市の中心から遠い所に運ばれていくということになり、運送関係の費用もかかるし、配慮しなきゃいけないと思います。																		●							
	市民B	3	今ある施設はどうするんですか。解体はしないんですか。	●																								
			言われることは分かるんですけど、家庭でできたものをどうするんですかという質問です。例えば、マンションでつくっても使わないし、戸建の家でも庭にまくということはできない。先ほどの話では不純物が混ざったものをなぜ作らせるんですか。私が期待している答えは、腐葉土化して軽くなったほうが、自治体で集めて何とか処理しますとか、そういう答えかなと思ったんです。																				●				
			燃やす以上、どうやって燃焼を維持しますかという質問です。			●																						
	市民C	1	バイオガスについては調査・研究の上、町田市に合ったものを選んだというふうに書いてありました。ところが、1カ月後、会議をやるかやらないかのうちに、会議の傍聴に行き拝見しました。そうしたら、既に生ごみのバイオガス化が決定されていました。これはどういうことなのか。調査・研究をして、決めたならばわかるが、何の前触れもなく検討を進めるのはおかしいのではないか。 家庭から出た生ごみを堆肥化したものを農家の方はお使いにならないというアンケート結果が紹介されたが、異物が入っているとか何とかという話もある。そもそも、堆肥は誰がつくるんですか。つくったものを見ないで、使わないと回答があがったのならばおかしいことじゃないですか。そういった意見を基に、生ごみのバイオガス化が決定されていいんですか。ご存じのとおり、ごみを堆肥化している市町村がたくさんありますけれども、そこの堆肥がもう売り切れちゃっているんです。町田市は消費者、消費地ですから、農地がたくさんあるわけです。そんなことが分かっていながら、克服しようとしないで、バイオガス化をやることを決めるというのは、なんか作為を感じるんです。私はその当時はいないですから構いませんけれども、われわれの責任というのは駄目なんじゃないか。やっぱりちゃんと分けて、いかに少なくするかという意識を高める。何も検討しないでやるから、こういう結果になってしまうんですよ。			●																	●				
	市民D	1	日の出町の周辺住民の方の合意をいただいているというお話なんですけれども、それっていうのは多分に一部でしか話されていないというのを心配しています。本当に、日の出町にこぞってみんなのごみを最終処理してくれているという状態を考える必要があると思います。水源に近い地域という問題もあるんですが、地域の人が本当に受け入れているのかどうかというのは、しっかりと確認を取っていただきたいと、真実とずれているんじゃないかなという心配をしています。										●														
	市民E	3	これ（三次選定評価項目）を決められたのは学識経験者と事業者で、それに対して市民が検討した課題と、市民の声を入れたかたちにする必要があると思います。委員の皆さんの中には、一般市民の代表と思えないメンバーが相当いらっしゃるわけです。一般公募は3人しかいないんです。																●								
			市民の皆さんの意見を踏まえて、皆さんが入れたと書いてあるじゃないですか。そうじゃなくて、意見交換会で出された市民の皆さんの意見を反映するような表現にしないとまずいと思います。いろんな見解・見方がございます。また、6つの評価項目の分類は理解できますか。専門家の意見の分類ですから、もっと一般市民に分かるようなものでやらないと、これが選定になったらまずいと思います。もっと一般市民の声を反映するような、もっと分かりやすいことの中でやらないと、専門家の分類ではないと思うんです。ですから、今度出るような意見を踏まえた中で、市民の意見を踏まえた討論、皆さん委員ではなくて、市民の声をまとめた意見にしてほしいという要望です。																●								
			焼却のストーカー炉とありますけれども、ストーカー方式とは分かっています。焼却炉は2機でやるんでしょうか。焼却炉はメンテナンスがあります。単純に1機ではまずいんで、2機、3機をどうやってつくるか。そういったことについてはどうなっているんでしょうか。2機でフル稼働した場合、停止すれば1機ということで、今のごみ量を考慮すると間に合わないと思いますので、108tを2機では、停止した場合に困るんじゃないですか。ただ、100t以下というと、小規模だと相当大きな影響はございませんけれど、2機ではどうやって併設するか、大きな問題だと思いますが、その点はいかがでしょうか。			●																					
	市民F	2	活性炭というのは、炭をつくってしまえば、活性炭はすぐにできます。 二酸化炭素、要するに車を長く走らせると二酸化炭素を発生して、それが環境に悪いというのは、要するに温暖化ガスと言いたいと思うんですけれども、二酸化炭素がなんで温暖化ガスなのか。																									●
			もう一つ質問しますけれども、二酸化炭素が温室効果ガスだという見解がナンセンスだと意見があがっていますがどう思いますか。																									●
	市民G	1	こういう規制については詳しいことは分かりませんし、国の規制値と町田市が新しく自主規制値を出したんですね。これは、非常にかけ離れているんですけれども、どういう基準でこういう自主規制値を設定したのか。そして、この規制値をどうやって規制して、一般市民に分かるように提示されるのか。こういう数字が確かに厳しいのは厳しいんですけれども、そういった意味で一般市民はこれで納得できない。国の規制値とは、あまりにもかけ離れている。どうして、町田市はこういう規制値をつくったんですか。								●																
			小計	1	0	2	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	2	1	0	0	2	0	0	0	2

	発言者	意見等数	ご意見の主要な内容 （○は判読不能文字又は特定個人名・特定企業名のため伏せたもの）	1．整備基本計画について											2．建設候補地について							3．委員会や意見交換会の進め方について	4．広報や住民との合意形成について	5．その他・町田市の施策について				意見以外の項目
				（1）現有施設	（2）施設計画	（3）熱回収施設	（4）バイオガス化施設	（5）資源ごみ処理施設	（6）エネルギーの利用	（7）施設の副次的機能	（8）自主規制値・運転管理目標値	（9）建設コスト・維持管理コスト	（10）周辺への影響・安全管理	（11）その他	（1）自然環境の保全	（2）市境からの距離、近隣市との関係	（3）分散化	（4）周辺地域への配慮・メリット	（5）交通状況について	（6）評価方法・項目・配点について	（7）その他			（1）生ごみの分別・堆肥化	（2）ごみ減量化	（3）基本計画の理念について	（4）その他	
8／1 鶴川市民センター	市民A	1	いわゆるこういう施設というのは、自分の横に来たらあんまりいい感じはしないですよね。だけど、まさに公共的なことを考えると、やっぱり考えないといけない問題だと思いますし、それは何とか納得してもらう必要があると思います。そのためには、少しは恩恵をこうむるような、何かメリットになるようなものがあれば、我慢のしがいがあるんじゃないかと思います。															●										
	市民B	1	私どもはちょうどNPOで、大型生ごみ処理機の第一生成物を扱っている団体なんですけれども、第一生成物だけでは堆肥できないんで、家庭用の生ごみ処理機も含めて、あれでは堆肥にならないわけですね。そういったところで、堆肥にならない中途半端なものを堆肥にするには、チップを入れたり馬糞を入れたり、いろんなことをしなきゃならない。そういうことが、果たして市の中で、どれほどのことができるのかなということも一つの疑問はあるんですけど。堆肥にして私どもの畑には使わせていただいて、町田市内の農家さんのところにもアピールさせていただいているのは、いいんですけれど、なかなか広まらないというのも歯がゆい思いがします。それと、大型生ごみ処理機での対応を含めて、そんなに生ごみが入っているのかな、なんて思う部分もあるんです。周りで聞いてみますと、そんなに出ないと言われています。食品残渣しか聞いていないんですけれども、食品残渣はほとんどなくて、野菜の皮をむいたりとか、そういうものしか出ないということで、私もずっとごみを出さない生活をしておりますので、なかなかそういう啓蒙活動するのが難しいということだと思います。																					●				
	市民C	2	下小山田の町内会の者でございます。下小山田の今の処理場、施設が建つ前には、下小山田は長いことごみが捨てられ続けてきました。そして、昭和56年に、今の施設が出来上がったと思います。それまでは、無法地帯のような場所だったわけです。それで、北側の小山田方面のバスどおりの田んぼには、廃液が流れ出て田んぼをまともに使用できず、イネをつくれないという状況になって、今あそこはハス田になっています。市のほうで、そういう補償をしているということだと思います。もう何年になるんでしょうか。一番初めにごみを捨て始めてから50年、60年の時が流れていると思いますけれども、小山田の地に、またしてもこういうものをつくるのかというのが小山田、下小山田、上小山田、両方同じですけれど、住む住民の感想でございまして、私どもの北側には多摩ニュータウンの煙突がありまして、こちらの市の煙突、その間が小山田地区ですね。その中に、もうできてほしくないと思っています。 それで、今までの管理・運営の中で、安全な運営をしているということも言われているんですけれども、あの中で頻繁に火事が起きたりしています。市の当局の釈明が、去年あったんですけれども、ちょうどそのときは町田リサイクル文化センターで市長との懇談会がありまして、その日の昼間のうちに火事が出まして、われわれは「きょうは会議ができるのかな」という感じで会場へ行ったんですけれども、火事の説明がございまして、「埃が立つ大きな施設だから、その中に煙が混ざった程度ですよ」という説明があって、本当にびっくりしたんです。ここにいらっしゃる部長さんがそういうふうに言ったんですけれども、地域の住民に報告、町内会ですからしたんですけれども、「何だ、それは」というようなことだったんです。ここで、新しい候補地として、このごみ処理場というのは、これも下小山田の土地ですから、またこんなところが候補地になっているのは、全くもって考えられないということです。 それから、市のほうは今までのことについて反省して謝罪して、そして今のような状況になっているんだというふうに思います。補償もしておりますし、ハスの田の運営等も市のほうで責任を持ってやっているから、それはそれでいいんですけれども、もうこの地域につくらないでほしいというのが下小山田町内会の想いです。会長が隣にいるんですけれども、この方は委員の中に入っていますから何も言えない。この候補地選定部会そのものが、こうやって地域の町内会長さんをみんな中に入れて、何も言えないようなことにしてしまっていると。この会の運営そのものが、まずいんじゃないかなと思います。今日の意見交換会でも、本題には全然入らないじゃないですか。こんな、何をつくるかなんていうのはとっくに決まっている話であって、今さらこんなことを1時間もやることはない。今一番大事なのは、どこにつくるかということであって、下小山田にはつくるなということです。									●									●							
			液状化については、今の答えは不適切だと思います。液状化、関東大震災のときに、小山田地区については液状化になっているんです。実際に私の家の庭も水を噴いて、山砂の地盤なんですね。それが噴いたというのが下小山田、特にこのタキヤと書いてある周辺は結構出ているというのが、ずいぶん昔の話ですから、今の役所の人が知らなくてもしょうがないんですけれども、地域の者はそういうことを分かっているんです。																	●							
	市民D	1	20年、30年たったら、またこういう会議をつくるとするとか、そういうことでしょうか。延命、延命ということで、また同じような会議をこういう、皆さんの意見があるか分かりませんけれども、また同じ場所を見つけて、同じような施設を造るという方針でいるのか、それをまた新しく、また延命、延命でずっとやるというのは、何か方法とか考えていますか。そうしないと、また同じものをつくって、またほかのところに同じものをつくるということになってしまうと、場所がいくらあっても足りないと思うんですけれども、そのへんのほうの回答っていうか、意見がありましたら教えていただきたいと思います。		●																						
	市民E	1	一応分かったような、分からないような感じです。結果をみて、どうして現在あがっている候補地が残ったというんですか。残った候補地は緑が多いですよね。そこは何とかなりませんかね。やっぱり私も近くに来てほしくないというのがありまして、ましてや下小山田の方の意見を聞くと、安全だ、安全だと言われても、不安というか、問題になってからでは遅いのではないか。それと、やっぱり緑のあるところをどんどん削っていっちゃうのは、いいとは思いません。											●													
	市民F	1	放射線量のほうじゃなくて、生ごみのほうなんですけど、生ごみだけを発電する施設のために、生ごみだけを可燃物に混ぜないで、生ごみだけを回収するというやり方はとらないのでしょうか。																				●				
	市民G	1	今度8月10日ですよね、意見の締め切りが。その後、12月に第3次選定結果が決まりますけれども、その前に委員会で点数付けをしますよね。その結果、この18箇所全部、点数を私たちに分かるようにしていただきたいと思うんですが。																●			●					
	市民H	1	先ほど、候補地の絞り方の話が出たときは、全て絞りきった上で、そこに住民説明会をやるというふうに一番最初はお聞きしたんですけど、今の説明のほうが正しいんですね。市で決めて、それで説明会を行うということですね。																			●					
	市民I	2	先ほど、液状化現象の説明がなされていましたけれども、町田市としては液状化現象を起こす場所がないと、そういう所はないというお話をなさっておりましたけれども、ちょっともう一度きちんと調べていただきたいんです。立川断層の延長線上で、真光寺川のほうで鶴見川とぶつかる所の左側ですね。あの辺が、液状化現象を起こす可能性が非常に高いというのは環境庁から発表されていますね。それを無視なさっているんですか。だから、三輪地区というのは、大変危険なんではないかという感じがしております。科学技術立国ですから、液状化現象を起こしたって、壊れないような建物をたぶん建てるんであろうとは思いますが、それは人間がやることですから、必ずどこかにミスがあると、動かなくなってしまうということがあります。																	●								
			今度の設備がどういう建物になるか分かりませんが、1つつくるんじゃなくて2つつくって、どちらかが壊れたらどちらかが使えるという形態にするか、もう液状化現象との関係のないやり方についても考えていただければと思います。													●										
			小計	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	1	1	0	1	2	1	2	2	0	0	0	0
			合計	2	3	4	11	3	2	2	2	3	8	1	1	0	3	2	1	11	5	2	8	9	2	1	0	3